京城日報
三日夕刊
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

對支要求條項說明

二日朝午前十時林公使は外交總長代理陳錦濤と會見し我が要求條項に關して委細說明せり(北京特電)

支那電話借欵百萬圓
既に成立して現金交附を了す

支那電話擴張費として支那交通部と中日實業會社との間に二十八日百萬圓の借欵成立し現金は三十一日北京政府に交付せられたり(北京特電)

露國艦隊の到着

露國艦隊はコンスタンチザに到着したり(露都電報)

羅國の領土的野心

羅馬尼王フエルヂナンドの爲したる宣言は羅馬尼が墺領バナツト、トランシルバニア及びブコブイナの一部又はシース河より黑海に對する地に對し領土的野心を有するもの丶如し(倫敦電報)

羅軍の進攻迅速

デーリーテレグラフの所報に曰く、ホワイトホール當局の談によれば戰局は過去四十八時間中に全然變化せり羅馬尼軍の進攻は豫想よりも迅速なりと(露都電報)

露軍の羅領通過開始

羅馬尼に入りたる露軍は羅領ドブルジア州通過を開始しつゝあり(露都電報)

墺軍國境遠く退却

墺軍は三日間に國境を去る二十三哩の地點にあるセレクシレダに退却したり(倫敦電報)

勃軍の十七箇要塞占領

在サロニカ、ロイテル通信員の所報に曰く勃軍は戰はずして東マセドニアに於て希臘が四百萬圓を費して建設せる十七個の要塞を占領し軍需品食糧及び大砲百門を鹵獲せり(倫敦電報)

獨紙と巴爾幹戰局

獨逸新聞紙の所報によれば、羅馬尼軍はマンスタツトに通ずる二條の山路を占領しブラツソーより進軍し來れる其僚軍と聯絡せり聯合軍がダニユーブ河を支配せるにより敵は益々窮地に陷る可く勃牙利の自餘の市街は悉く危殆に瀕せり獨逸新聞紙は曰く吾人は此上墺軍が退却せりとの報に接せざる可し墺軍今回の退却は新たに延長せる戰線を維持する事難く其退却は避く可からざる事實なり(倫敦電報)

獨軍擊破されん
ソンム英獨戰局の形勢

英國大本營附通信員の所報に曰くソンムに於ける戰局中にて特筆す可きは英軍は每日若干の土地を占領しつゝありて何れに於ても敵に擊退せられたる事なく獨軍は我勇敢なる砲兵と步兵との爲めに擊破せらる可きこと確實となれる點なりと(倫敦電報)

東阿獨軍の總退却

倫敦來電に曰く、獨領東阿弗利加に遠征中なる英軍司令官スマツツ將軍の報告によれば獨軍は總退却を爲し英軍は是の地方政府所在地なるムロゴロを占領したり(紐育電報)

南鮮土調終了

九月各道に開催する地方土地調査委員會の結果土地調査の終了するは京畿道慶尙北道慶尙南道忠淸南北道の五道にて全南及び全北は何れも數郡を殘す事となるも何れも近く完了する事となるべく結局中部及び南鮮は土地臺帳の整備を見る譯なりと

地方費好收

大正四年度地方費賦課金收入額の合計を聞くに調定額百四十六萬四千百七十六圓に對し收入百四十六萬二千二百十圓を示し收入未濟分は千八百十九圓にて收納割合九割九分八厘の好成績を示し居れるが各道中收入最も良好なるは忠淸北道咸鏡南道にて共に完納し忠南全北全南平北は何れも九割九分九厘京畿慶北黃海平南咸北は九割九分八厘慶南は九割九分七厘江原道は九割九分一厘にて六萬四百三圓の調定に對し四百七十一圓を殘し居れり

慶北穀收豫想

九月一日慶尙北道調査發表にかゝる管內穀物收穫豫想は氣候の關係上益々好望を以て迎へられつゝあり今是が種類に就き列記せば

▲水稻 は最初豪雨の爲減收を氣遣はれ又分蘗少なき爲め不作を憂慮されしも八月以後氣候の回復は凡てを杞憂に了らしめ十四萬町步の耕作面積は耕作植付普及し加ふるに二百十日も無事經過し二百二十日の厄日もさしたる事なかる可きものと觀測して本年米收百七十萬五千四百八十石を豫想し得られ是を昨年に比し三割五分七厘の增收となる

▲陸稻 は乾田に耕作するものと雖も比較的濕地に適するものなれば本年は至極濕潤にして四千九百石の收穫を見る可く昨年に比し一割二分の增收

▲大豆 初期雨量多き爲め莖葉の冗長の傾きありしと雖も例年の如く秋季乾燥過度の弊に陷らず昨年に比し一割二步二厘の增收即ち三十三萬六千七百八十石となる

▲粟 は餘り良好の結果を來さず八月以後の天候回復により聊か生氣回復せしも收穫豫想十四萬一千五百三十七石是を昨年に比し二割二步の減收

▲棉作 播種以來降雨繁かりし爲め開花期も十日間位遲延し發育佳良ならず然れども耕作面積擴張の結果在來棉三十五萬五千二百四十一貫陸地棉三十六萬二百三十八貫の豫想也

朝鮮事業公債の性質

大正六年度朝鮮總督府事業公債を內地市場に於て公募すべしとの說に付聞く所によれば大正五年度の朝鮮總督府事業資金は全部一般會計よりの貸附けに仰げるも大正六年度は政府に於て此の一般會計の融通を廢し公債支辨に改むる事に決定したりと云ふにあり唯其の金額は目下總督府より內閣に提出中の豫算案に對し如何なる査定を下すべきか全く不明に付今日に於て精確の數字を知り難きも明年の道路修築海關工事鐵道建設改良等の事業費は恐らく一千一百萬圓臺を上下すべしとの事なり唯朝鮮としては該額を一般會計より借入るゝも公債支辨とするも兎に角所要資金を收受すれば足り何等豫算面に影響し來らざる譯なるも政府の方針が果して世說の如く非募債主義を朝鮮のみには特に募債主義に變更する事となるものならば其の交涉は目下東上中の荒井度支部長官と內閣當局との間に行はれつゝあるものと見るべくこれを外にして大正二年四月發行朝鮮事業公債三千萬圓は明年十二月償還期となり居れるに付これは朝鮮財政の現狀より觀て當然一般より借換の爲め募債する事となるべしと

忠南雜穀豫想

本年は非常の豐作にして米の豫想百六十五萬石なる旨は既報の通りなるが之を昨年の收穫に比する時は四割六分の增收にして大豆は二十三萬石の見込にして昨年より三步七厘の增收陸稻は七千石にして四割五步の增收粟は一萬一千石にして九厘の減收棉は十四萬貫の見込にして一割三步の增收を得る見込なり(公州)

平南米收豫想

平安南道に於ける本年の米作收穫豫想高は水稻五十一萬五千百五十一石にして前年の實收高四十四萬三千四百二十五石に比し七萬千七百二十六石の增收なるがこは龍岡江西陽德の三郡作付反別增加せると一般生育狀況良好なるによるものにして安州平原二郡に於ける乾畓多少旱害を蒙りたるも大なる被害なく又陸稻收穫豫想高は三萬二千八百七十二石にして前年の實收二萬九千六百二十五石に比し三千二百四十七石の增收なりしは之れ又生育の佳良なると作付反別の增加に起因するものなり而して水陸稻通算すれば本年度米の收穫高總計は四年度に比し七萬四千九百七十三石の增加を示せり因に一般農民の最も厄日と稱する二百十日も無事經過したれば蓋し本年度の實收高は收穫豫想高と大差なかるべし

新米廻著と作柄

例年早稻神力は七月に入れば必ず出廻あり晚くも八月に入り漸々入津を見るが例なりしも今年は少しく遲れて客月半頃より新米の初入津ありて辻川奥田の二精米所に引取りたるが値段は昨年と大差なく而して辻川精米所にては新米先走りとして阪地に移出を試み其他は地塲賣買されたり此等新米は何れも全羅道產なりしが頃日に至り黃海道砂里院より十石內外の回送ありしが吉金商店より滿物精米所に商談纏まり十五圓にて取引行はれたり新米の景氣は概して好氣配にして値段は例年と差したる相違なく每年早稻種は京畿道利川黃海道砂里院にて其他は普通作として概ね十月以降に出廻るが常なり而して本年の米作は七月頃に於ける豪雨にて被害少なからず就中全羅忠淸二道は堤防決潰等の個所多く從つて其被害も甚大なるものありしが其後天候恢復に伴ひ收穫量平年作と大差なき迄に持直し殊に黃海道の作況尤も良好なりと某當業者は語れり(仁川)

仁川當限渡米

仁川定期八月切りの二萬三千石は入月一日取引關係筋に於ては夫々風調を行ひ二日は先切りの代用米千石餘りの受渡を了し愈々三日より當切りの受渡に取掛りたり渡米中には破れ又は色付叺等包裝不充分の者少なからざる模樣なるも兩者合議の上値引を實行したる爲め先切りに於て一時受渡を中止したるが如き程に硬軟兩派の主張峻嚴ならざるに付今回は圓滿に且つ時日を非常に短縮せらるべく審査の點に就ても從來幾多の經驗に徵して結了も豫期以上に速かならんと一般に觀測し居るが如し(仁川)

安東縣

▲通化救療所 赤十字社安東支部管內なる通化救療所は九月一日より開設の筈なりしも豫定より遲れ本月中旬頃愈々事務開始を見る可く新任所長西川鎌三郎氏一行三名は二日頃旅順出發赴任の途に上る筈▲屠獸場新築 日支合辦事業たる安東屠獸場は工費二萬餘圓にて愈々新築するに決定し土盛工事は支那側にて家屋建築は日本側に於て請負ふことに協議纏まりたるに依り近日中土盛工事の入札を行ひて年內に該工事を竣へ建物工事は明春解氷後着手する筈▲始政記念式 九月一日は關東都督府始政十週年記念式に相當せるを以て安東郵務署及び安東縣郵便局にては記念式を擧行せり▲鴨綠江材流下數 採木公司の調査に依れば八月末日迄の鴨綠江材流下數は三千九百三十一臺此連數百二十三萬八千二百六十五連其內公司が一旦買收し直ちに賣戻しを爲したるもの二千九百四十九臺百萬九千六百十一連公司に於て買收せるもの百二十二臺四萬八千九百十六連半にして是等の取引總價格は百八十萬〇五百〇五兩に達せり前記著筏數を昨年同期に比較すれば實に九百三十四臺の增加なり▲電柱材注文 近來各地に於ける鴨綠江材の需要盛んに喚起されつゝあるが最近四鄭鐵道沿線架設の電柱材及び公主嶺なる日支合辦電燈局用電柱材とにて各五百本宛鴨綠江材の注文ありて目下當地滿鐵貯木塲にて發送準備中なり▲吉田領事出張 安東領事吉田茂氏は三日海路出發天津北京方面へ出張▲警備船建造 曩に採木公司の註文に依り汽艇一隻を建造し當地斯界の新記錄を作れる滿鮮鐵工所にては今回更に平北龍岩浦警察署より警備船建造の註文を受け目下起工中なるが十月末迄には竣成の筈▲記念植樹協議 安東官有財產管理會は昨年度より數年間の繼續事業として大典記念植樹を實施し居れるが今後の方針に關し二日午前九時より近藤同會委員長、中野議長、堀內民團理事、彼末採木技師、横田滿鐵地方主任の諸氏民團樓上に會合協議する處ありたり▲汽艇竣成 安東警察署所屬の警備用小蒸汽船は過般來大連に於て建造中の處既に竣成せるに依り近日當地へ廻航の筈

元山

▲モリソン博士通過 過般來日本內地に避暑中なりし支那政府顧問モリソン博士は家族同伴にて歸任の途次金剛山探勝の爲め九月一日夕著列車にて來元し愛媛館に小憩の後同夜出帆の京畿丸にて長崎に向へり▲築港近況 元山築港工事中埋立工事は海陸兩方面より豫定の如く進捗を示しつゝあり又防波堤工事は既に二千餘坪の捨石を終り殘餘一千坪も本月末までには全部終了の筈なり而して目下建築中なる工塲完成の曉は泥凝土製造に著手し本年內に二三個の泥凝土は岸壁地點の埋設を試むるに至るべしと▲酒稅令と酒實查 這回發布されたる酒稅令は愈九月一日より實施となり元山府に於ては同日當局者總出にて管內酒類の販賣及び釀造業者の各戶に就き包持酒の實查を行へり▲消防組と夜警 從來元山警察署より消防組をして行はしめつゝありし夜警は去る六月一日以來中止されたるが更に九月一日より行はしむる事となりたり▲咸南春蠶總高 咸南各郡に於ける本年春蠶の收繭額を總括するに飼育戶數一萬九千戶掃立枚數內地種一萬九百六十五枚在來種六千四百四十九枚にして之れが收繭高は內地種二千四百九十六石在來種九百二十四石にして合計三千四百二十石に達し居れり

久原家の鋼鐵王招待
大阪支局記者

▣久原房之助氏は甞に露國皇帝御名代ミハイロウヰツチ殿下を奉迎して一大盛宴を張りしが三十一日また米國の鋼鐵王グーリー氏を招待し日米工業の爲め祝盃を交換せり是れ久原氏が日米工業の發達を企て世界的に雄飛せんとする素地を作るものなり▣當日ゲ氏を請じたるは邸內の蒼昌樓にして家根一帶には甲州葡萄の累々と實れる蔓を這はせ四園の竹垣には金魚を入れたる硝子製の瓢簞をからませ食堂內には築山を設け池に金魚を放つなど見る目凉しくあらん限り善美を盡せり殊に東京上野精養軒より厨夫を迎へて饗應し鄭重なる盛饌を開きたり▣日本座敷に於て大阪美妓の舞踊等あり最後に總出にて手に手に日米兩國旗を翳して國の譽と祝ひの一曲を演じたるに一行は大に滿足して恐悦の體なり次で林泉花石數奇を凝らしたる庭園を徜徉し此間成國女史等の席上揮毫あり久原家よりはゲ氏に秘藏の鎧一著と太刀一振を夫人に日本意匠の京人形を贈りたり斯くてゲ氏一行は京都に歸りしが二日東上す

仁川

▲英語研究生募集 仁川基督教青年會にては九月四日より新學期を開始する旨に就き英語研究生を募集すべし▲仁川移出米 仁川港客月中の移出米數量は白米一萬三千八百九叺大豆一萬八百三十五叺小麥百一叺籾四十叺其他米八十六叺粉米二千八百六十二叺中白米五十二叺計二萬七千七百八十四叺なり外支那輸出米は白米九千八百五十九叺大豆六十二叺粉米十八叺中白米五十二叺計九千九百九十一叺にして輸移出總計三萬七千七百七十五叺なり▲杻峴驛成績 杻峴驛八月中の營業成績を聞くに乘車人員一萬八十二人降車人員一萬一千百八十八人入塲人員二千九百九十二人發送手荷物三千九百七十六斤到著同上一萬五千五百三斤客車收入八千百二十五圓三十七錢發著貨物數量八千三百十二噸三十九貫車收入六百八十圓也

鳥致院

▲燕岐郡二百十日 未明より濃霧に包まれ一陣の風なく至つて淸朗二百十日の厄日無事平穩なり▲稻作 植付以來の降雨は大した被害個所も無く却つて例年植付不能の地方まで植付け得たり病害は稻いもち病所々發生したりと雖も被害輕く區域狹小なるが上に救治方法効を奏せしは不幸中の幸なり浮塵子は發生個所極めて少く其後の天候は該蟲の發生をして大に減殺せしめたる故毫も被害なし螟蟲は例年各所に發生せるを以て勉めて採卵除蛾の方法を督勵せしを以て是れ又被害頗る微少なり▲一般の生育 土用中照込少なく株張りも面白からず爲に大に氣遣はれ居りしも其後の天候適順大に盛り返し目下の處にては草丈けと云ひ株張りも相當張れる事とて先づ平年作は大丈夫の見込なり目下中稻は大略穗揃ひ晚稻は走り穗を現はせり▲大豆作 播種以來過度の降雨の爲め莖葉徒長し莢付如何はしく氣遣はれたるも是れ亦快復せる天候の爲大に見直し先づ平年作は間違なからん▲陸地棉 中廢せる陸地棉は本年再び郡內十町步に奬勵せるに連月の多雨多濕に不均栽培指導其宜しきを得たる爲め當局者は勿論農家も不思議なる感じを成せる位の良成績にて一本三個以上の球架を結び初年栽培としては申分なき作柄にて唯晚霜の襲來を氣遣ふのみ▲貨物自動車 遲くとも來る十五日より鳥致院忠州間貨物自動車開通の運びに至るべしと▲農銀鳥致院支店 一日より愈々支店として事務を開始し當分の內淸州支店長北原彥次郎氏赴任の筈

光州

▲全南春蠶收繭高 本道春蠶收繭高は飼育戶數一萬六千二百七十六戶掃立數一萬五千二百二十三枚收繭高三千百七十一石にして昨年に比し飼養戶數五十八戶減少し掃立數六百六十六枚を增加し收繭四百一石を減じたるは改良種奬勵の結果に依るものなりと▲救恤金御下賜 廿六日 陛下より朝鮮水災救恤金として御下賜相成りたる四千八百圓中本道に對し二百四十圓の割當になりたる爲め目下本道地方係にて罹災者へ割當方調查中なり▲警部試驗執行 本月四五兩日本道警察部に於て內鮮人警部試驗を執行する筈にて內地人志願者十名鮮人三名なりと▲光松間長牛橋破損 三十日夜地方に豪雨あり出水の爲め光州松汀里間の長牛橋約三間陷落して自動車馬車は行通不能となりたり道土木係にては技手及び工手を派して復舊中なるも四五日を要する見込みなり▲長官部長歸任 內地歸省中の宮木長官は一日東京を發し又浦野警務部長は二日神戶を發し長官と同車して四日午後三時歸任の豫定也▲持越酒調查 本道にては酒稅令發布に伴ひ道內各郡の持越酒調査の必要ある爲め道第二部稅務係北濱主任以下各書記郡部に出張調査中なり

鎭海

▲見習工補習會 豫て規程を發表されし鎭海要港部修理工塲見習工補習會開會式は九月一日午後四時より當地公立尋常高等小學校にて擧行されたり會長の式辭山口要港部司令官の訓辭見習工二十一名總代の答辭あり式畢て隣室にて茶菓の饗應あり散會したり▲二百十日 三十一日朝來雨あり風ありて本月一日の厄日は農界米作者の爲め如何あらんかと氣遣はれし天候は夜に入りて靜穩に歸し當日は朝來天候晴溫共に申分なく昌原郡一帶は此上二百二十日尚ほ無事なれば豐作疑ひなしと歡喜の色耕作地の全面を蔽へり▲佐野大佐歸任 暑中休暇にて東上されし要港部參謀長伯爵佐野大佐は三四日頃東京出發歸任の筈

人事消息

▲森安連吉氏(醫學博士) 三日朝水原へ
▲大橋新太郎氏(京城電氣株式會社長) 二日朝出發歸東
▲矢本正平氏(海州地方法院判事) 二日朝入京淸光館へ
▲ブリガチナ氏(京城駐在白耳義領事) 二日午後元山港葛麻より歸京
▲米國總領事夫妻(京城駐在) 三日朝同地へ
▲神林敬太郎氏(咸興炭鑛會社取締役) 三日朝入京南尾旅館へ
▲河村多實次郎氏(理學士) 同上
▲ミレル氏▲リヨン氏▲キルマン夫人▲マツト孃以上米人二日夜入京朝鮮ホテルへ

回公州より　鳥兎

無佛兒に和す
雲と契る離合や秋の水白し
大塊翁に答ふ
すてゝ走るゝ都や雲の秋
秋の山に松秀でたり都遠し
我行くや雲自らなる秋高し
○
醉舞夢新なり鷄語聽く夕

◇東宮滿鮮御見學

尊き御足の跡を大陸に印し給はん

▽豫め踏査せる石井教授の謹話

學習院教授石井國次氏は東宮殿下來る十一日の新學期より滿洲朝鮮の地理御研究あらせ給ふに就き石井氏は地理科教授主任として特に滿鮮地方出張の命を拜し實地を踏査すること五十餘日にして八月三十一日無事歸京したり其の談に曰く未だ復命も爲ず何等の言上をも爲さゞる中に喋々するは憚あるも概略を申さば先月十六日東京を出發し先づ釜山に上陸し京城、仁川、鎭南浦、元山を經て金剛山を踏破し海城、平壤より廣梁灣に出で鹽田を見て新義州に入り滿鐵線を長春より哈爾賓迄行き引返して遼陽、撫順、營口、旅順、大連に出で其處より鎌倉丸に搭乘して歸來したり旅行は大名の東海道式に依らず成る可く膝栗毛に觀つて隨分田舍の隅々までも見て廻りたるが金剛山では折柄小學校教員の講習會を開けるを見て一種の感に打たれたり御參考にとて寫眞は多く撮影したるが朝鮮で有名な人蔘を始め豆、粟、米、高粱、大豆撫順炭等の類をも多く採集して歸りたり風景にては金剛山と離宮候補地の平壤乙密臺の雄大なる光景に驚嘆の眼を睜りたることにて今春佐渡の荒浪を蹴て順德陵を御遥弔あらせ給ひし殿下には何れ朝鮮へも遠からざる中に御見學の御旅行遊ばさるべければ未だ御經驗に入らざる大陸の光景が如何に御感興を惹くの大なるべきかは申す迄もなく新附子民をして御景措く能はざらしむるの偉効あるべきことは李王世子御婚約の風聞に依りて愈よ雀躍せる人心を感孚する與に測り知るべからざるものあるべしと考ふるなり云々

●浦鹽の埠頭に軍需品の山

商品の缺乏

店員が軍隊に召集された爲め店舖を閉鎖した露國商人もある

砂糖は一人一斤に限つて販賣

◇昨今の浦鹽港は日本及び亞米利加から輸入された軍需品山積みの有樣埠頭の其處此處は申すまでもなく貨物は砲臺の上迄積みあげられてある◇殊に昨今は豫て露國から米國に注文した一萬輛の貨車が到著して埠頭は雜沓を極つゝある◇貨車の組立ては普通日本人が一番川を稱するペルイ、レーチカ附近に於て毎日幾百となく出來あがりつゝあるが工場から持ち出された貨車は何れも數百臺となく歐露へ輸送されつゝさる◇猶ほこれ等の貨車は何れも遊つ放なしで一應露の本國へ送られた上は向うで輸送に用ゐられるといふことである◇斯の如く莫大な荷物が陸揚げせらるゝので港は日本及米國の汽船が充滿に輻輳し非常な壯觀を呈して居る◇殊に日本の船舶は其の總噸數の二分の一以上に上り乘組員の上陸する者も尠なくないので一般邦人相手の商人はホク〳〵ものであつた◇これに反し露西亞の商舖は一般に本國からの品物仕入に困難して居る昨今何もかも品切れの有樣である然も小包郵便で仕入れてあつた商人は先般の小包の取扱停止に非常な打撃をうけた、併し昨今では順次申出により少量の取扱を始めたやうである◇また商品の缺乏と共に商店の店員も不足のやうである、これは本國の戰線に立つ爲め多くの壯丁が召集された影響で中には店員不足の爲めに店舖を閉鎖した家もある◇恁麼有樣であるから露西亞本國からの品物は極東に廻らす砂糖の如きも一人一斤に限つて販賣して居る◇それでは日本の砂糖を送れば好いと云ふもの〻此の方は關税の障壁があつて到底輸入して引合はぬ有樣、併し今少し商價となれば乾度日本品が輸入されると思ふ◇昨今日本品の浦鹽輸入は戰爭の影響をうけて增大したとは云ふもの〻まだ其の十分の一にも足らぬ、それに露本國及び奧地へは輸送が困難な爲めに殆んど積出すとが能きないからである◇併し米國が露西亞の大注文を引受けたのは尠くの外なく其の浦鹽埠頭に揚陸せらる〻數量も實に莫大な額である◇また私の考へでは今後西比利亞に於ける小規模の製造工業は乾度有望であると思ふ、露西亞の關税撤廢せられざる限り必ず有望な事業であると思ふ（ロシヤ物產主晋木氏談）

●機關銃を連發して追撃

木浦港外警備船扇海丸の演習

全南木浦警察署警備船扇海丸は去月三十一日天長節の佳辰に際して試運轉並びに假裝トロール船の追擊、水難者救護其の他演習を行ひたるが此の日雨模樣にして風稍々強く海上穩かならざりしも定刻十一時となるや新裝美はしき滿船飾の扇海丸は三發の煙火を合圖に奏樂の香勇ましく拔錨し一時間十一浬半の快速力を以て試運轉の途に上り稅關ランチ榮丸是れに從ふ來賓百五十餘名は甲板の上下思ひ〳〵の場所に陣取りて或は非將棋を鬪はし或は四方の風景を翫賞する中船は何時しか港口に差懸り折柄の上潮に矢の如き流れを難なく突破して港口外に出づれば遙かの沖合一哩半の彼方に一隻のトロール船（第一鵲丸）あり斯くと見たる扇海丸は直に第三鵲丸に命令して此れを追擊せしめ同船は機關銃を連發しながら追擊したるもトロール船は速力早く第三鵲の手に合はずして結局扇海丸に拿捕せられたるが此れにて追擊演習を終り各船共船首を廻らして花源半島と高下島の間を藝冠島附近に至りて休憩し此處にて林檢事長の挨拶杉村檢事の謝辭あり用意の折詰の饗應を受く喫食後機關砲の操縱練習、水難者救護演習等を行ひ優良なる成績を示して喝采を博したるが來賓の半は其の後に於て鷺岩半島に上陸し平素は詣づる人もなき庵寺に參する者もあり斯くて半日の清遊を恣にして無事埠頭に歸著したるは午後五時頃なりき（木浦支局）

●渡船覆つて九名溺死

平安南道順川郡仙沼面檢山洞大同江支流の渡川場に於て九月一日午前十一時頃渡船顛覆九名死亡せり順川憲兵分遣所より憲兵出張部內人民と共力川中を搜索せしに二名の屍體を發見せり

●五萬三百圓の慰藉料請求

看手…發狂…免職…侮辱

平壤壽町三十三番地居住元平壤監獄看手三澤嘉三は數年前より幾分精神に異常を呈したる處から昨年春依願免職となり其後ブラ〳〵と遊び居りしが此の程政府を相手取り慰藉料其他にて五萬三百圓といふ大金の請求訴訟を平壤地方法院檢事局に提起した三澤嘉三が此の訴訟を起した理由と云ふのは大正四年十一月二十七日午後六時三十三分平壤發混合列車に搭乘し京城へ赴かんとしたる際平壤停車場派出所巡査は既に列車中に乘込みたる嘉三を引卸し平壤警察署に連行したり巡査の此の行爲に對し甚たく侮辱を感じ其の爲め精神に益々異狀を來たし同年十二月十四日から本年三月十六日まで福岡醫科大學病院に入院したるが其の入院料三百圓と嘉三外家族四人の者に對する慰藉料として一人當一萬圓合計五萬三百圓の請求をなしたるものであるが果してどうなる事やら

●極東オリンピック豫選大會

新記錄を作る

極東オリンピック豫選大會は二日午後一時より芝浦の新競技場に於て開催せられたるが來年五月行はる可き極東國際競技會への出場權を爭ふ第一の機會なるを以て選手の意氣込盛に五時四十分第一日の競技を終り三日愈々選手權競技行はれ猛烈なる爭覇戰の最中なるが第一日に於て神戸高商の選手福井奥村兩氏は百碼競爭に於て極東大會の記錄を打破し十秒五分の二の新記錄を作りたれば來賓席なる大谷光明師は此關西選手の爲め拍手を惜まず喜悅滿面に溢れ居れり（東京特電）

●漢陽公園に大猿を拾ふ

京城長谷川町居住新聞配達夫李明順が二日午後五時頃漢陽公園を通り掛りたるに公園に一頭の大猿徘徊し居るを認め早速捕へて本町警察署に拾得屆をなしたるが何れ飼養中のものが逃走したるものなるべしと

●金庫を探して懲役一年半

京城授恩洞生れ當時笠井町居住鼠力職金點到事金聖文(三一)は前科二犯の曲者なるが八月九日午前二時頃樂園洞の酒幕にて飲酒したる上同洞雜貨商申明重方の前を通り蒐りたる際同家が店頭を開け放して就寢し居るを見て急に物が欲しくなりて同家に侵入し金庫を探し廻れる內明重が眼を醒まして取押へ其筋に突き出したるより同人は此程京城地方法院にて懲役一年六箇月の處分となれり

●犲の大群白晝鮮人村を襲ふ

三名を咬み倒して逃走

去る廿三日より廿四日に亙り咸南安邊郡新茅面下多田里及び金泉里一帶にヌクテの大群現はれ折柄川口に洗濯中なりし新茅面林學奎の妻女を目懸けて飛び付き頭部外十數箇所を咬み人事不省に陷らしめ其の儘下多田里に向ひ道路附近に遊び居りし同里黃河濤の愛兒を咬み倒し更に金泉里に向ひ同里金基安が農作中を後方より飛び懸り數箇所に咬み付き其の儘山中に姿を隱せし由にて同地方人民は恐怖の餘り白晝さへ外出せざる始末なりしが一方面長より此の急報に接したる安邊憲兵分遣所に於ては早速憲兵數名を現場に急派せしめたれば一行は新茅面に著すと同時に大擧してヌクテ狩を爲す事に決し第一に二十四日午後より新茅面を始めとして下多田里、金泉里と順次各面に於て三十名乃至五十名餘の住民を集めて各附近の山を狩り廻りたるも二十五日に至る迄遂に一頭だも發見せず二十六日に至り一旦引揚げし由

●銀簪を入質され自殺した女

京城鍾路三丁目居住趙熙明妻金姓女(二〇)は元妓生なりしが三年前熙明と夫妻となりて同棲せしも熙明は無職の爲め生活に窮し目下熙明の妹婿なる趙熙燮方に兩人共同居寄食し居れるも一文の收入もなき爲め去る一日も熙明は金姓女の銀簪及び珊瑚を入質して辛くも其日を暮し居れる程にて金姓女は生活難を悲觀したる結果二日午前七時頃居宅にて苛性曹達を飲用して自殺を企て苦悶中を隣室に居りたる夫趙熙明が發見し應急手當を加へしも二日夜遂に死亡せり

●林中に隱匿す

靜岡縣駿東郡富岡村生れ住所不定の西島甚作(三五)は前科一犯あり朝鮮各地を漂浪したる末京城に流れ込み八月二十日夜龍山漢江通鐵道病院河村某宅の裏窓より侵入して毛布外衣類雜品十數點(二十五圓)を竊取し贓品は南米倉町雜貨商朴浦陽方の門內或は獨立門外の松林中に隱匿し居れる所を本町署の刑事に探知せられて遂に檢擧されたり

●天勝の開演

天勝及び露佛女優一行四十餘名は二日夜著京華々しく乘込みたるが豫定の通り三日午後六時より開場同七時半より本町有樂舘に開演すべく例のテンペスト女優連の各國ダンス等は最も呼び物

天勝のエリエル

●天勝の見た哈爾賓の夜

隨分面白いことがあるんですよ少し―ホンの子供か不具者ばかり―シャンタンの氣分を味はつて見ました―踊り子は三十人ばかり出て流行唄―こればかりはお酒が飲めます

「―妾たちが裏面から觀た露西亞のお話の中には殿方がお聽きになると隨分面白い事があるんですのよ」と表情たつぷりな顏を少し傾げてニツと笑つた天勝はどうしても相手を話の中に吊り込まなければ措かない樣に語り出す。―妾共の一行は露西亞には始めて言葉が些とも通じないので、何彼につけ領事館の方のお世話になりましたが、それでも出來るなら

▽哈爾賓から露西亞本國の奧深く這入つて見やうと思つたんですけれども、肝腎のお客樣の男といふ男の方が悉く戰場に出てゐて殘つた者はホンの子供や不具者ばかりといふ有樣なので哈爾賓から引返して參りました樣なわけ、哈爾賓滯在中に評判の例のシャンタンに出かけて見ました、露西亞氣分を味はうのには此處に限ると聞いて居りましたが成程と感じました、その踊り舞臺では宵の內から三十人位の娘が出て流行唄などを合唱してそれが濟むとその內から一人一人出て踊るのです、その踊り子には各々番號が附いてゐて、舞臺に登るたびに番號が揭げられるのです、それを棧敷のボックスに陣取つて

▽熱心に見物するんですが芳烈なお酒を飲みながらその中に氣に入つた女があると『あの番號の女を呼んでくれ』と給仕に命ずるのです、お客から口のかゝつた女は舞臺が濟むと直ぐにお客の傍へ來てしなだれかゝつて飲んだり喫べたりするんです、ボクスは一つ一つ仕切つてはありますけれども日本では到底見られない樣な所が手に取る樣に見られるんです、それが夜の更けるに連れて澤山の人たちが踊り子を相摯して唄ひ囃しながら騷ぐうちに女にはお酒を澤山に飲ませるのでそれが皆虎になつてしまうんです丁度日本で殿方がお茶屋に登つて好い御機嫌になるのを露西亞では

▽逆に行つて男の方が溫順しく女が多く酔拂つてしまうんですこうして女を一晩呼んで遊ぶのは三十留位ですが呼んだ女に飲食ひされるので直きに二三百留位はかゝるのださうですがそれは此のシャンタンの中の飲食物の高價な事は驚くばかりで三鞭酒が一本十二留、カツフェが一杯五十哥もするんですから、その他は申し上げるまでもありません驚ろいたことには戰地から歸つて來てゐる負傷兵や佩劍を光らした軍人の將校らしい方などが平氣で這入つて來て女を相手にお酒を飲んで居るんです、日本ならば怪しからん軍人だとか

△何んとか一悶着起きる所ですけれども流石は露西亞で皆が別に怪しみもせずに一緒になつて騷ぎ廻るんです、シャンターに身を置いて居りますと戰爭とか何んとかいふ氣分は些しも無くいかにもゆつたりとしたいゝ氣分を味はふ事が出來ますのであちらに居りますうちは始終出かけたんです

■怖いは腐つた魚

二十九日午後京城旭町魚市場にて釜山より入荷したる大鮪一尾腐敗し居るものを小賣商人が販賣に着手し居れるを醫官が認めて廢棄せしめたるが內地に於て虎疫猖獗の時節柄一般生魚に注意を要すべしと

◎押入れの中に潛む

平壤嘉明遊廓牙樓抱へ娼妓松尾事江口きく(二十二)は七月上旬情夫なる愛媛縣生れ當時京城本町二丁目仲田保(三十三)と謀し合せて逃走し行衛不明なりしが此程龍山靑坡町一丁目無職赤溝京一方に隱れ居りしを平壤署の探知する處となりしより去る二十五日同町大工職後坂伊三郎方に移轉押入中に潛伏せるを發見し京城龍山署へ引致され平壤に護送されたり

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▽俗謠題『風』

○露を碎いて香りを趁せて朝の夢路にそよ〳〵と（一等）　京城光熙町　窪田　東海

▲月の眞砂路浮れて來れば風に流るゝ獅子の唄　鳥致院　田宮　傳一

▲不幸して出た身は譚泊の秋をかなしい風が吹く　水原　花心

▲京の田舍も浮世の風は暖や蘆やの唆吹く　京城　大島　紫流

▲秋の風立ちや夜毎のねんも切れて棚に破れ團扇　京城　般若　魏友

圖課題及び規定は欄外にあり

●連絡船上陸客　卅一日夜着

一等　伊藤留七郎、岩本直次郎、金里六郎、名古屋十郎、最上圓藏、外人八名　二等　田中秀策、田…

●暴風警報（九月三日午前九時卅分發）

讀者文藝課題及募集規定

大日本陰陽學會朝鮮支部新設

會長　吉田學明師

先般來當地原金旅館に滯在し一般の鑑定需に應じ候處鑑定希望者多數の爲左記に支部を設け從前通り鑑定需に應ず

（鑑定料　觀相五十錢　當用易斷一圓）

京城本町通り三丁目
大日本陰陽會朝鮮支部執事敬白

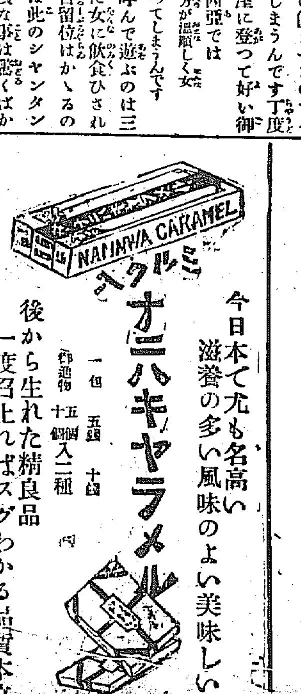
鑛山營業
各種礦石買入
重石買入
Ⓚ
京城鍾路二丁目九九番地
金石商會
電話一八九九番
▲鑛物定量分拆▲鑛山測量製圖

謹啓益々御隆昌之段奉賀候陳者弊社儀多年格別の御引立を蒙り難有奉謝候然るに今般時運の趨勢に鑑み兩社を合し新たに瀧川燐寸株式會社を組織し同社へ營業權全部を讓渡す事に相成候に付從前同樣御引立の程奉懇願候　敬具

大正五年九月一日
良燧合資會社
清燧社
瀧川本店

謹啓當社儀今回清燧社及良燧合資會社の營業權全部を讓受け從前通り營業仕候間兩社同樣一層御眷顧を蒙り度此段御挨拶旁御依賴申上候　頓首

大正五年九月一日
神戸市京町八十一番
瀧川燐寸株式會社
電話　特長　三一八二八番　二九九番　一九七七番



今日本て尤も名高い滋養の多い風味のよい美味しい
ミルクヘナニハキャラメル
一包　五錢　十錢
御進物　五個入　十個入　二種
後から生れた精良品
一度召上ればスグわかる品質本位
製造元　大阪　浪速製菓所
特約店　釜山　ミトヤ商店
○京城、元山、木浦、群山、其他各地に特約店販賣店有升

◎眼鏡新荷著廣告
米國製
正金張三種　獨平凸凹玉サック付
純ニツケル一種　逸品
甲　三圓五十錢
乙　三圓
丙　二圓五十錢
◎地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候　但し前金に限り送費無料
京城本町一丁目（郵便局前）
中村時計店眼鏡部
電話一二一七番
振替口座京城三四六番

品質純良
エモト
粕取燒酎
味淋
京城蓬萊町
發賣元
三巴酒造場　電話長一〇六七番
三巴大田支店　電話長二三五番
三巴平壤支店　電話長五二一番

野川千代野、石田菱平、深澤勝定、小室憲市、…まさ、同しん、同きみ、同橋次郎、金龍瑞、深澤定次、三浦新人、長谷川繁次、杉山滋雄、山下清太郎、十四名
一日朝入港對馬丸一二等客
小西文吉、…李龍淵、伊藤喜久馬、…二階堂松、富永しげ、藤本順雄、…尾重男、太田吟吾、須藤豊吾、山口源次郎、坂井菁次郎
二日夜入港對馬丸にて…二等五名三等五十五名なり一二等客人名如左
二等…三月五男、上田あさ、月岡良太郎、花吹…三郎、海掛米太郎、大橋巍之助、岩崎直英、金信平、笹尾兼太郎、松木彬、増田利右衛門、宮崎小…

◉秋の野にすだく

鈴蟲や松蟲

△虫の喰べ物

▽これからは啼く蟲の世界になります啼く蟲と申しましても随分居ります松蟲、鈴蟲、轡蟲、草雲雀、邯鄲、蟋蟀、馬追などで共夏の間の短い命ですが其れ〳〵生活も違へば癖も違ひます

▽鈴蟲と云へば皆さんの御承知の『リーン』『リーン』と涼しい聲を振立てゝ啼く蟲です、體の色が黒いので直わかります、此蟲はあのやうに品のよい聲で啼くのですが、随分意地の穢ない蟲で、食ものを與へますと奪ひ合をします、鰹の頭でも鰹節のかけらでも、生臭いものが大好きで、草の葉などは一向喜びません

▽處が仲間の松蟲の方は啼き方も『チンチロリンチンチロリン』と賑やかなものですから性質も賑やかしいと申しますと鈴蟲とは反對で食物は坊さんのやうに精進料理で、青いものばかりでどんなお腹が空いても決して生臭いものは食ません

▽其れから轡虫は『ガチヤガチヤ』と云ふ位に喧しい蟲ですが、此の蟲は其の啼き聲の通り何でも闘はずムシヤ〳〵食べます、桑の葉でも芋の葉でも大喜びで少しも食物に分け隔てはありません、其れでも却々丈夫で飼ふには容易い蟲です。

□露西亞の民謠(4)

—ド、クロイツ氏輯の中より— 昇曙夢氏 山崎斌氏 共譯

△小川のほとり

小川よかなし、ながれよさびし
わたしをこゝで、泣かせておくれ
ながれよ水よ、わたしの人を
たれがまた、おさへてゐるよ
あはれなものよ、わたしの人を
その手をたれか、おさへてゐるよ
小川の岸の、鄕の木蔭に
娘は坐つてゐる、泣いてゐる
木綿のハンケチで、涙を拭いてゐる
そして可愛い瞳は、野末を見つめてゐる。

◉大邱高女開校式期 ▲十月上旬に延期

大邱高等女學校開校式は九月上旬擧行の豫定なりしも都合により十月上旬に延期したり猶ほ同地高等普通學校開校式も高女と同時に擧行せらるべし

□コレラの歌 於水原 孤城

八月廿日の夜京釜線の乗客百二十餘名水原驛にて下車を命ぜられ夫々隔離せらる

○空は晴し雨はます〳〵降り來なり巡査東西に走るもの凄き驛
○泣く兒負うて行く手を急ぐ母も見たり實に夫の病危しと
○消毒にしたゝか濡れし旅衣若きもあらず雨しきるやど
○都には待つ母もあり妻もあるなりいつまで此處に殘さるゝらん
○いつの代の如何なる神の罰りならんあはれ吾等に罪のあらなくに
○怨る男かなしむ女とり〴〵に夜すから眠れず嗚呼いかにせん
○雨漏々たよる宿なきぬれからす時あさりて泣き明かしけり

回日曜ポンチ『日曜と大そうじ』—(トム)—

さる會社員此の程新妻をむかへ甘き事砂糖を煮つめたる如し、今日の日曜を大そうじに費す事のあまりに惜しく殘念なりそこで新郎新婦大發明新案をなしたるかしや札(一)新郎新婦の發明苦心(二)かしや札を吾家にはり付け大そうじをよそに二人揃ふて散歩を出かける(三)南山公園或は清涼里に綠陰を求めて甘き一月を暮す(四)一日の遊散に二人とも面白き思ひをなし夕暮れ時に吾家に歸りかしや札のまんまと成功したるをよろこびて大うかれ

◉補缺入學許可 市内大門內私立京城女子技藝學校及び同校内中等夜學校にては今回新學期に際し各學年共補缺入學を許す由なり

◉奉祝俳句募集 京城燕風會にては九月廿日〆切にて天長節奉祝俳句五千句を募集す課題は天長節、菊、相の實、千鳥、稲、雁、紅茶、虫、鶴、秋風、芭蕉、肌寒、神の旅、鹿、山茶花申込所は本町三丁目廿二石科一郎氏方、入料一句に付一錢

◉青年會夜學校 南大門通一丁目漢城銀行向ひ京城青年會夜學校は本月四日より新學期を開始し英語、朝鮮語共新入學生を募集しつゝあるが同校にては今學期は月謝及び入學金に特典を與ふる外其組織を改善し新に數名の教師を招聘し毎夜七時半より二時間宛教授する由

◉米花氏の寄附金 總督府水產課の米花芳太郎氏は過般に逝去されたる次女美子追善供養の爲め櫻井小學校及び郷里の小學校へ運動器具費として金三十圓宛寄贈せり

◉松原總長巡錫 京城西本願寺朝鮮開教總長松原氏は南鮮地方巡錫の爲め一日夜行列車にて南行

◉院長令息婚儀 總督府醫院々長芳賀博士令息則政氏二十四才(慶應大學理財科出身(三井製藥合資會社員))と京城銀行支配人弓場承榮氏令嬢君子氏十八才(跡見女學校出身)と婚約なりて近日華燭の典を擧ぐる由

□神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 三日午後八時より日曜講演あり

○東本願寺(南山) 三日午後八時より信友會第一回講演會開催藤井開教院の『犠牲的精神の活動』大幸布教監督の『信念上の満足』等あり

婦人界消息

△久水三和子(府尹嗣子夫人) 仁川府尹久水三郎氏令嗣恒哉氏夫人は過日來東京本鄉昭町十三番地に於て病氣療養中なりしが三十日午前九時十五分逝去の旨留守宅に通知ありたり

△中島茂子(本社經濟部長夫人) 二日午前二時坊ちやんが出來ました

▼鯵木の目やき

鯵を三枚にして薄身をすき取り小骨を抜き醤油五分みりん五分を煮立てさましたる中に三時間つけ置き金串を二本打ちて遠火にて燒きあがりに木の目なよくすりて其間中に醤油を入れてのばしたるものを二度かけてはあぶり〳〵して器にさり金串をとりて皿にもり供す(青木はつ子)

番茶のあとさ

このあひだ死んだ南大門外の佛國人T君は其の遺書狀に感慨とを記して居た曰く△『予は京城エム孃に壹萬圓を遺贈す、此の金額は銀行に預け入れ彼女の結婚の際これを與ふべし△但し遺は彼女の配偶者が獨逸人に非ざる時に限る……』と時節柄餘程獨逸人が癪かつたと見ゐる

〈演藝案内〉

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店 八月三十一日より提供の大寫眞 ○喜劇實業家の卷 ○實寫パチー週報第二十七號 ○喜劇戰爭の犠牲 △撰澤立花離縁一派出演 ○新派大悲劇『二筋小袖』全三卷 ○探偵活劇『怪事件』全三卷 △伊太利シチス會社傑作 ○舊劇 全三卷

御成座 一成町 電話一一九一 革新派中村榮一行 第七十九回替狂言 一番目 義理の世の中 全九場 二番目 親の慈悲 全二場

浪花館 明治町 電話二六〇 九月五日六日両日間 聯合義太夫大會

黄金館 電話一八五二 二六三七 天然色活動寫眞株式會社直營 大活劇第八『名金』…

各種染料 染料商 會 後藤商店 地方より御注文は各洋行品御希望の通買次可致候 京城長谷川町五十八 電話二一八番

◉夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品 一等無キズ品 壹組參圓五拾錢 二等品 壹組貳圓五拾錢 三等品 壹組壹圓五拾錢以下 其外雨覆日覆用携帶天幕 雨合羽冬絨洋服外套類 和服洋服商 金子奥市商店 龍山元町二丁目 電話一〇五番 振替京城三八一三番

わきが アーザーを御用ひあれ 藥價廿錢六十錢一圓 にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は 京城本町 山田文殊堂藥房

指環及時計 仁川本町 糸岐商店 電話三七〇番・振替京城七一一

るゐれき 病者 ○クビ○アゴ○下腹○耳ノウシロ○ワキノ下等にグリグリが出來ても長年の重病もキラズに安全に治す良藥あり困難の方ハガキにて申込め無料進呈 兵庫縣明石本町 長井家

東洋一の魁 新型流行 内田式ストロンク號は堅牢優美 保證す 旅行用 靴と鞄

内田靴鞄問屋 東京市芝區櫻田伏見町角 電話一五五一 振替一八七一七

大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番 持約店京城南大門通二丁目 新井藥房

洋釘 洋鐵 浪平板 福田又京城支店 京城南大門通三丁目 電一二二一

株式會社京城葬儀社 旭町一丁目(京城府廳隣) 電話一五六七番 二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎 霊柩馬車設備あり 電話九五七番

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

本邦及英米國政府專賣特許

滋養強壯料 肝油ドロツプス

(現品縮寫圖)

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロツプス

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

肝油ドロツプス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり

複方肝油ドロツプス 肝油の含量の半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム	一日二回乃至三回服用
五歳以下	一回一顆又は二顆
十歳以下	一回二顆乃至四顆
十五歳以下	一回三顆乃至六顆
大人	一回四顆乃至八顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又は飲み以て細片に割り冷水或は微溫湯にて嚥下にするも妨げなし

定價 五十顆入 金七十錢 百二十顆入 金一圓廿五錢 複方百顆入 金一圓廿五錢

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロツプスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき肝油ドロツプスを創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、醋酪の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

如斯人は滋養料◎肝油ドロツプスを用ふべし

一、顔の色が蒼白くて艶無き人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、皮膚の紋理が惡くザツ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、頸が細長く、頬が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、顔や手先きを滑こくし度い人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、産前産後の滋養を計らうとする人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人

如斯人は滋養料◎複方肝油ドロツプスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、貧血症になつてゐる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、心臓病に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリ、ヒステリーなどの神經病に悩まされてゐる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である
一、發育不全の小兒
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人

▲賣捌‖全國到る處の藥舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロツプス
御園化粧品

發賣元 ◎ 登錄商號

東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

丸見屋商店

電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番 營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

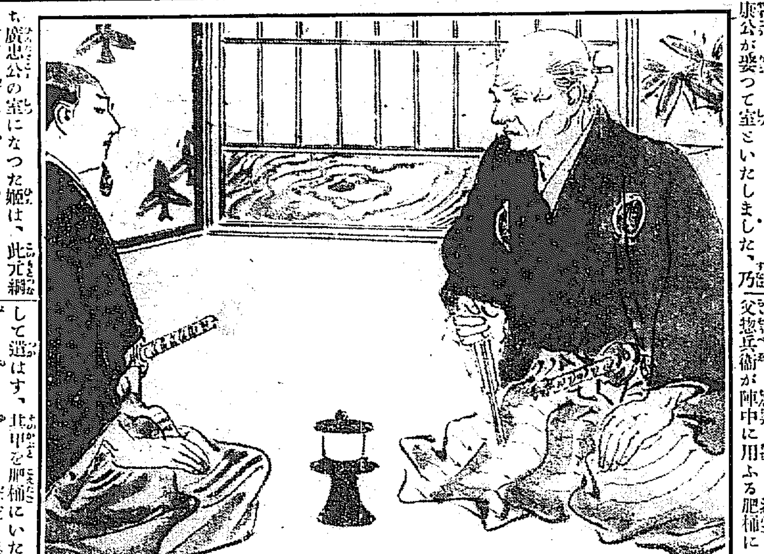
△謎題『借金と掛けて』同七日
△狂歌題『團子』同八日
△次回俗謠『古』同十日

汽車 [illegible]

宮本武藏

第百四十八回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記



宮本武藏は白柄組と近付になり水野十郎左衛門の紹介で水野日向守勝成にも對面いたしましたが此日向守勝成といふ人は徳川家に取つては大功のあつた人で祖父は水野右衛門太夫忠政といつて三州苅谷の城主であります、忠政の娘が徳川廣忠公の室となり、此間に生れたのが家康公であります、亦廣忠公の父清康公は三州額田の領主大河内元綱といふ人の女で初め水野忠政に嫁し、仔細あつて離縁になつて居りました婦人を清康公が娶つて室といたしました、乃ち廣忠公の室になつた姫は、此元綱の息女が忠政に嫁して生みましたもの、徳川家には因縁のある家柄であります、忠政の子が惣兵衛忠重、忠重の子が藤十郎勝成、後に日向守と任官いたしましたが名代の豪傑、三州小豆坂の戰を初陣として凡そ戰場といふ戰場を踏まぬといふ事はなく就中慶長元和の兩役に抜群の功名を遂げ、家康公より我家の守刀は日向守勝成といふ言葉があつた位ゐ此人に就いては種々逸話があるが中でも面白いのは天正十二年小牧の合戰に長久手の原に於て池田勝入齋の大軍を討破つた時の事、日向守勝成未だ藤十郎の昔し、眼病に罹つて居りましたため甲は冠らず、澁染の手拭を盤んで後鉢巻をいたし、二間柄皆朱の槍を押取つて馬を躍らし群がる敵勢の眞只中へ乘込まんとする此時後ろに控へて居た父の惣兵衛忠重平常は親子睦まじく暮らして居るが不思議な事には卒戰場となると非常に仲が惡くなる親は子を罵しり、子は親を罵しる、又水野の親子喧嘩がといつて評判でございます、惣兵衛忠重今倅藤十郎が甲を背負つて乘出したのを見ると『ヤア〜者共アレを見ろ、倅藤十郎餘程狼狽へたと見えて甲を背中に背負つて飛出して行く、武士が甲を冠らんといふ可笑しな奴、要らぬ甲なら置いて往け父惣兵衛が陣中に用ふる肥桶にいたして遣はす、其甲を肥桶にいたすに依つて置いて往け』と大音に呼はつた、之を聞くと勝成馬上に於て振り向き乍ら　藤『ナニ要らん甲なら置いて往け、陣中に用ひる肥桶にするとは何でござるイヤサ肥桶にするとは何だ、拙者の甲にも八幡座といふものがある、武士が大切なる甲を肥桶にするといはれては勘辨成らん、今一言申して見ろ、父なりといへども其分には捨置かんぞ　惣『ナニ此奴が生意氣千萬な、臆病者の甲だに依つて肥桶にしろと申した、其が什麼した、父に向つて勘辨するのしないのと申して無禮千萬な奴、其方こそ其分には捨置かんぞ　藤『何を〜奇怪至極、最早勘辨相成らん』と持つたる甲を大地に叩き付け、馬の頭を引向けて父の方に向はんとする、父惣重も一刀の柄に手を懸けアワヤ引抜かんといふ大變な親子喧嘩、陣中上を下への騒動、此時家康公烈しき戰の中に之を見給ひ　家『又水野の父子喧嘩か、平常は馬鹿々々しく仲の宜い親子だが戰場となると奇體に喧嘩を初める併し捨置いては切合が初まる、早く止めい早く差止めい』といふ上意、家來が『○上意でござる、お止まり下さるやう親子喧嘩をしてはならんといふ上意……』可笑しな上意で、兩人上意といふ聲を聞いて左右へ別れた、が藤十郎其日は一番槍を入れて甲首五ツ討取つた大した手柄、さしもの大合戰も徳川家の勝利となつて家康公大層お喜こび其後御前へ水野親子を召されて、家『其方父子の武勇、當家に並ぶ者もないが親子仲の惡るいのも又古今無双ぢや、併し其方親子が喧嘩をすると奇體に味方の勝利になる吉例ぢやに依つて以來戰場に出る度毎に親子喧嘩をいたせ、予が許す、なるだけ大仕懸けに致せ　父子『へ、エッ』大變なお許しがあつたもの、兩人恐縮して居ります　家『併し平日は親子喧嘩は無用、兩人仲宜くいたせ能いか、親子喧嘩は戰場ばかりであるぞ、之は徳川の吉例であると仰しやつた、妙な吉例でございます其れほど家康公が重じた人で、世間で大久保彦左衛門の奇行として傳へて居る大半は此日向守勝成の逸話であります。

書畫用 絖 畫絹
京染呉服商 まや出張店 京城水標町二 電話一九六番

南米倉町朝市場通仁濟病院跡
内科小兒科 花柳病外科 入院隨意
上野醫院 電話二九三四番

皮黴科
皮膚病 黴毒病 淋病 勝胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元朝日町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

九月五日九星 舊八月八日 乙巳 本命七赤 西 納 先負

▲七赤 利の爲に情に悖る事有日新事見合南方は吉暗劍西▲八白 邪魔が上る日轉居旅行入學金件家作求職婚姻人寄薬を開く等萬吉▲九紫 割子外れの事有る日新事手捺事は吉一切のかけ事を禁ず▲一白 清美の日轉居開業入門名弘求職金談婚姻移轉等萬吉▲二黒 金運の日轉居行商求職名弘金談出漁婚姻鑛山業等萬吉▲三碧 氣の詳し〜する事有る日路付て新事手捺事開鑿は妨げなし▲四緑 筋道のたらぬ事有る日新事手捺商事は吉紹介調印等を禁ず▲五黄 移轉の日轉居開業入門金談婚姻等萬吉女子の營業事業を計るに妙▲六白 焦貧の日轉居旅行入學求職薬類金件出漁婚姻建薬を開く等吉

秋の胃病
赤痢、コレラの黴菌も強壯なる胃液の鹽酸に逢へば忽ち滅殺せらるゝから、胃を強壯にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である然るに秋は日中暑くして朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずとも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫合議製劑の胃活……善は急げ、今直ぐに……

胃病 良藥

Ⓒあらず
(一)胃活は重曹主劑にあらず
(二)胃活は一時的の消化藥にあらず
(三)胃活は日中藥にあらず
(四)胃活は容量の大なる藥にあらず
●胃活の効能は
胃弱。りゆう飲。胃カタル。胸いた。しやく。腹はり。胸痞へ。食滞ます。食進み過。食傷。むかつき。胸やけ。けつぷ出。二日醉。通じなき其他一切の胃病に奇効あり……試み玉へ
胃活錠は飲むに湯水を要せず携帯に便利な錠劑なり……
藥は必ず思ひ立たる時買玉へ
藥は可成高きものを買ひ玉へ
買入注意
胃活錠定價壹圓、五拾錢、廿錢
胃活定價壹圓、六拾五錢、卅五錢、貳拾五錢、拾錢
本舗 東京本銀町三丁目山田安民藥房 大阪南久寶寺町二山田安民藥房
請賣所 全國各藥店にあり

西小門町(舊高井醫院跡)(電話一三一五)
内科小兒科 外科花柳病 診察 自午前八時至午後九時
高井醫院分院
院長正六位勳四等醫學士 高井貞治
副院長醫學士 松崎正彦

帯革各種 パッキング ビッカー 生皮商革 紐革組金具 其他工業用諸革
品質保證在庫豐富
朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目
定價表御一報次第送呈

醇良清酒 白鶴
増本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番 振替京城六一九番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目
電話五八番 振替貯金京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八二二番

醇良無双清酒
無害衛生 品質無双
有薫
首藤合名會社吟醸
精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醤油 鑵詰萬 各種 シトロン 三矢 布引 サイダー 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖こが陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は漸時効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃が如しハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す
▲[illegible]
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番
東京眞空療法研究所

最上醤油
京城本町三丁目
田中支店釀造 電話七六四番

内科小兒科 入院隨意
京城明治町(元善隣學校跡)
中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

麻病梅毒痔疾及衰弱性諸症患者諸君 是非御一讀を乞ふ
●新劑の發見と藥味の改善は吾社の生命
內務省衛生試驗所長 藥學博士 平山松治先生
帝國醫科大學病院長 醫學博士 伊藤隼三先生
大阪醫科大學校長 醫學博士 佐多愛彦先生
赤十字社病院長 醫學博士 永野純三先生
同內科醫長 醫學博士 前田松苗先生
緒方病院長 醫學博士 緒方正清先生
等を始め東西各醫藥學大家の分析御報告及御賞讃を得たる(獨乙製舶來ヘモクロビンに勝る事數等なりと)して世界の學者の驚歎に値する

血液元素 滋養素 オーソールを始めとし
りん病ばい毒痔疾婦人病藥の各種
は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね學理に諳ひ實見に徵し幾多貴重の犠牲を拂ひ漸くにして成功せるものゝみなり而も尚日に月に刻一刻駿々乎として止まざる學理の進歩に鑑み吾社試驗部に於ては常に世界最新の學説を漁り絶えず新劑の發見に努めつゝあり

無効返金 百圓進呈

りん病 請合藥 (壹週間分) 特製參圓 普通貳圓 小包送費拾貳錢
痔疾 請合藥 (壹週間分) 内外併用壹圓四十錢 小包送費拾貳錢
ばい毒 請合藥 (壹週間分) 特製貳圓 普通壹圓廿錢 小包送費拾貳錢
婦人病 請合藥 (壹週間分) 内用壹圓 外用六拾錢 小包送費拾貳錢
代金引換小包は送費廿錢郵便切手にて前納を乞ふ

●其他 脚氣藥 定價壹圓 ●性慢 胃腸藥 定價壹圓五拾錢以上壹圓六拾錢 ●腦神經鎭靜劑 定價壹圓 ●腎臓病
新劑 心臓病新劑 定價壹圓 變形 壹個廿五錢 女用 壹個六拾錢
●花柳病豫防新劑ラーヂ 定價五拾錢 約廿回分
新劑ルーデサック 壹打卅五錢以上六拾錢

右新劑麻病藥は治麻劑として黴毒藥は驅黴内服藥として、方今世界の醫學上藥學上第一有効と確認せられ東京帝國醫科大學病院、九州帝國醫科大學病院等に於て卓絶せる効力有りと賞揚配劑せられつゝありて衛生部の試驗所が檢査封緘せる正確なる商貨藥を主藥として製劑しある事を保證す。而して斯界の學士、博士の前に斷言するを憚らず何人にても分析の結果前述の證言に違あるを發見せらるゝ時は分析料として金百圓を進呈す
●あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ根治法を懇示す
●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信券添付の事
●無効藥價必返金す
右廣告記事に就て大阪區裁判所檢事局に於て縷々質問せられ一々詳細に明答して事實を立證せり吾がドラッグ商會の廣告には一言半句と雖も嘘なし偽なし、彼の幾多無稽の妄説を掲げて得々たる山師的詐欺廣告の類に非らず賢明なる讀者諸君請ふ、玉石混淆する勿れ。近來各地に有り藥品『偽ドラッグ』の表裝に『有田監製』付御買取りの際御注意を乞ふ

○注意
古來誇大なる事の比喩に藥の廣告の如しとの言あり、之れ藥界裏面の一端を穿てる實際なり。嘗て世界に誇るべき花柳病藥として各地の新聞紙に廣告せられつゝある某商會製藥の効力一件につき、吾がドラッグ商會と同店との間に端無く一大紛爭起り大阪控訴院に於て京都醫科大學博士、高井醫學博士、九州醫科大學病院、田村醫學博士を始め各府縣立病院等全國官公立十五大病院よりの回答書類及志立醫學博士、旭憲吉先生等各大家の著書によりて辯論せられたる結果、公明正大なる判決あり吾がドラッグ商會の全勝に歸したる事は、京阪數多の藥業新聞を始め全國各地の新聞紙上に報せられたれば讀者諸君は先刻御承知の事ならん。見よ藥界の廣告の如き稀には正直なるものあれども中には大家の氏名を盜用して學者より訴へらるゝもあり、或は無稽の妄説を掲げて罰せらるゝものあり。斯かる極端なる例は措いて問はずもがな、彼の金力により博士大家の名を利用せるが如き如何はしきもの千百の證明等夫れ幾許の價値かある、廣告には初號活字の表題を以て學理上不治の難症と公認せられあるき疾病をも必ず全治すと吹聽するこれ古來誇大の比喩に藥の廣告を以てせらるゝ所謂なり。患者諸君よ廣告には如何に博士の方劑と言ひ大家の發見と稱するとも世界文明國の最高學府即ち吾が日本の大學病院等に於て之れが効力を認めずとして使用せざるのみならず、大學諸教授の眼中に無きが如き藥劑の効力如何は諸君が常識の判斷に俟つべきのみ。吾が商會は實に卓越せる藥劑の實効に之れを倚頼し決して山師的誇張の廣告を爲さず。全快の禮状の如きは眞に机上積んで山を成せども弊社は患者諸君の名譽を尊重するの道に悖るを恐れ一切を省略せり、讀者諸君請ふ諒せられん事を。

本舗 大阪(花柳病專門藥房) 合資會社ドラッグ商會
花柳病專門藥房 ドラッグ商會滿鮮本部
京城南大門外停車場通り
支店 龍山漢江通 元山本町三 釜山南濱町
長電話二五六七番 振替口座京城四六七番

京城日報

四日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

第二版

…第三堅坑の開鑿中にして坊子炭坑の…目下…全力を注げり
堅坑全部を移して堅坑修築に充てつゝあるも第三堅坑竣成と共に僅に二千五百噸の產出あるべしと稱せらる本炭坑の如く我炭坑の採掘力は今後僅に百五十…を計畫…秋季に入る…一面に著るしく…

京城日報

滿蒙の防務

此度鄭家屯支那兵暴行事件あるや世間滿洲蒙古の防備警察に關する議論頗る囂しきものあり。或は我帝國政府は、此度の事件の善後策として滿洲蒙古の防務に就き何等かの交渉を支那政府に求むべしとも傳ふ。鄭家屯事件なるものは甚だ簡單なり。然れども此種の事件をして再び起ることなからしむるの計を定むるは、必ずしも容易ならず。我政府の談判の稍遲延の狀あるは、是等の善後策に就き考慮する所あるが爲めなるべきか。

世間或は說を爲すものあり。曰く滿洲蒙古廣大の地は支那兵の力に依りて之を防護せざるべからず、日本又は露西亞等にて其勢力範圍を自ら警備せむとするも恐くは其力の及ぶところにあらずと。然りと雖も今日の支那兵の素質如何を視、又其規律節制如何を察するときは、之に依賴して以て滿蒙の安全を求むるといふことは餘りに迂遠の沙汰ならずや。且國民性を異にする所の兵員が相接近し居るといふとは、兎角に行違を生じ易く、一たび行違を生ずるときはこれより延いて大事を釀すとなきを保せず。是東西古今最も邊境の多事を愛ふる所以にして、往年露西亞の遼東に占據するの日、支那露西亞間に際地なるものを設けて互に相接觸するをなきを期したるは、蓋し必要の手段を盡くすものなり。其他緩衝地中立地帶等を設くるの實際甚だ多きを見ても、其要を知るを得べく吾人が數々鄭家屯事件善後策として支那兵配布の制限を主張するの理由亦此に存す。

且滿洲は清朝覆滅後にありては、支那に取りては一邊境に過ぎざれども、日露兩國の經營其形を成すあり今日は則ち亞細亞歐羅巴を通ずるの大公道たり。日露兩國民の鐵道鑛山諸業を營み、及び農業を開始せる處なり。其防務は則ち自ら公道維持者たり。事業經營者たるものゝ義務に屬すべく、これが爲めに幾多の勞作と費用とを要するも亦之を辭するに由なきなり。露西亞は現に交戰中なり。其滿蒙の施設平生の如くなる能はず。戰後如何なる方針を取るべきか、今之を逆睹すべからずと雖も、我と露西亞との間には、既に協約の成れるあり。露國は飽まで其心事を一にして其任務を全くすることを期すべきや論なく、我は我朝鮮を以て亞細亞大經營の基礎と爲し、滿洲に於ける諸施設を進む。其功程自ら見るべきものあり。吾人は滿蒙の治安と重大なる利害關係を有するだけ、之に對する義務をも深く自覺せざるべからず。此度の鄭家屯事件交渉が如何なる點まで進むべきか、吾人の與り知る所にあらずと雖も、其大體の要旨に就て吾人の見るところは則ち此の如し。

浦鹽斯德の貿易及び金融(二)

浦鹽松田銀行部調査

日露の貿易は輸出入共に逐年增進の趨勢にありたるもの戰亂の結果一躍して非常の統計を示すに至りたるは歐交の親善と地理的關係とに由る必然の結果にして衛生材料藥品類「アンチモニー」亞鉛鐵貨の如き日本が輸入頗る多く又銃砲彈藥軍械皮革製品帆布の如き凡て從來歐露貿易を奪ひたるものにして將來に於て益々發展すべき運命を有するものと云ふべし然りと雖も或は生產力以上の注文を引受けて粗製品を供給し或は見本に劣りたる下等品を送附して將來の取引に對し不安を抱かしむる等の事實漸々として發現し爲に從來露國人との取引は船荷證券の提供に由りて代金の支拂を受け得たるも今や現品の引渡を爲すに非ざれば支拂に應せざるが如き狀況となり悲いて長年在留して根底を築きたる日本人の信用を重くするに至りたる實況を見るに及んでは日本商人の常に際物師的取引に由りて蒙むる甚大なる損害を痛嘆せずんばあるべからず更に日本商人の資金の豐富ならざる露語の智識に乏しき等の缺點は共に將來に於て長く今日の大勢を維持するに困難なる事情にして今にして官民協力して此缺點を補ふの方法を講ずるは尤も急務なることゝ信ず左に

△日露貿易二年間の統計を揭げて其の變化を示すべし

年別	輸出額	輸入額
一九一三年	[illegible]	[illegible]
一九一四年	[illegible]	[illegible]
一九一五年	[illegible]	[illegible]
一九一六年四月迄	[illegible]	[illegible]

前段述たる如く浦鹽斯德の貿易は極めて突飛的の增進を爲し從て頗る殷賑の狀を呈すと雖も其增加したるは軍需品に非れば通過若くは更に歐露に轉送せらるゝものにして浦鹽斯德自體の進步發達に伴ふものに非ず從つて

△代金の決濟も亦直接當港の資金に由るものに變化を來したるに非ずして倫敦又は露都に於て受渡を爲すものに非れば露都より送られたる資金に由るもの多し故に此等の取引決濟に對し金融機關の繁忙を見たるは當然の事なりと雖も浦鹽斯德の進步發達に對し著しき變化を生じたるものに非るのみならず戰亂に處する露國政府の施設として兌換の停止紙幣の制限外發行の增加長期短期の公債募集等の事實は露貨の下落を助長し遂に一時邦貨百圓に對し百八十六留の相場を現出するに至り外國爲替は一時中絕の止むを得ざるに至り後各自金融機關は倫敦市場の實況に基き各別異の相場を建て取扱ひたりと雖も前途如何なる事情の生ずるや之を豫測する能はざるが故に貿易の要求に應ずること能はざるは當然にして爲に貿易を阻害したること甚大なるは言を俟たざる所なり就中千九百十六年二月に至り政府は大藏大臣官房に國債決濟課を設けて

△外國爲替の操縱を政府に掌握し外貨に對する露貨の價格を一定して强制的に內國銀行をして之を遵奉せしめたる結果內國銀行の外國取引は全く停止せられたるの事實は露の外國貿易に非常なる打擊を與へたり

再築落成號發行

昨年十一月本社不慮祝融の厄に遭ひたるも十萬愛讀者諸君の爲に倍々奮闘努力平常の眷顧に酬ゐんとし今日に及びたるが其間同人の精勵と江湖の贊翼とに依り直に再築に著手したる社屋も愈々旬日ならずして落成を告げ太平街頭巨然として前日の雄姿を現すに至らんとするは洵に欣慶に堪へざる所也されば今回聊か自祝の意を表する爲め來る十月一日より十日間再築落成號を發行し更に一層紙面の體裁記事の精選報道の迅速正確を期し以て江湖の愛顧に酬ゐんとす是れ同人の微衷に外ならざる也敢て再築落成を報じ併せて倍々江湖の御同情を冀ふ 敬白

大正五年九月 日

京城日報社

放浪漫記

大谷光瑞

八月三日シンガポールに於て

(承前)本年は何故にや氣候頗る不順にして五月に入りてよりマラバル海岸は一帶に雨多く一般は雨期に入るが如く感せり。然れども氣象臺は疑似にして眞正にあらずと云へり、ベンガル灣も兩三回低氣壓の生ずるあり同じく雨季の如し、然れどもパンジャブ一帶は未だ雨を齎らす、唯シムラ附近のヒマラヤ外山脈は五月の終末より連日の降雨をなし殆んど雨期に等し、眞正の南西信風期の降雨は其初期に於ては電氣の發作を伴ふと雖も降雨旬日に及べば又放電せず然るに本年は三週の霖雨放電を伴はざるなし。蓋しアフガニスタンより來れる淺薄なる低氣壓に伴ふ者にして、此の低氣壓のパンジャブに入るや熱風塵埃を吹き高く一萬尺餘の天空に飛騰し天日殆ど光りなし、シムラの如き六七十哩を隔つも猶然り是れ本邦に於て見るべからず、北支那に於ては猛風の砂塵を卷くあり其狀是に類せり、高度に於ては相違あり、如く微塵を猛勢なる上騰氣流により奔引せしめ、而して上層氣流に伴ひ遠距離に迄致せり、氣象學者は塵霧(ダストアーズ)と云へり是れ頗る放電を催す原因にして兩三日の塵霧あれば必ず放電を生ずるに至る、而してアフガニスタンより來る低氣壓は連續來走し爲に五月廿九日より六月廿日まで霖雨絕ねざるに及ぶ、而して雨の來るや驟雨一過萬山皆青きが如き快きものに非ず、白雲濛々甚しき咫尺を辨せざるに至る、而して朝より暮に至り終日雲中に封鎖せられ甚だ不快云ふべからず、靜慮禪定の人は枯木寒巖の如く枯坐し冥想き俗物にして散亂放逸の者は到底究に於ける瞑想を學ぶ能はずして、三週の疑似雨期すら運動不足と精神不快の爲め著るしく健康を害したれば、更に九旬の雨に安居をなすの勇なし、終に意を決し下山し再び天日を望まんと欲し東歸致候。秋風蕭颯は漲海東歸の日實なれども、小生は敢て上海の支那料理の味に戀着せるに非ず、實に太陽の光線に戀々致候昨年避暑漫錄に記せしが如く雲は小生の最も嫌忌せる者の一にして、是に包圍攻擊せられては甚だ困却致候。聽松卿室滿園秋果の美は戀の情なきに非ざるも光線に比しては割愛せざる可からず。幸ひ九條男爵ロンドンより卿室に來れるを以て書籍家具の保管と弟子兩人を托し、今冬の再遊を約し小生單身七月三日ボンベイに向ひ申候。途上は東パンジャブの炎熱帶を通過するを以て車中頗る困難を極め申候、小生は從來より百度以下の溫度は數ば經驗を致し候へ共、今回は百十度にして殆ど平臥するのみにて如何ともすべからず、電氣扇は唯熱風を扇ぐのみにて一點の涼味なく、氣息奄々の內に通過いたし候。聞く所によれば二週間以前信度河中流の最熱地を英兵の通過せしに車中にて六十餘名の日射病を生ぜりと云ふ、小生は幸ひに是の厄難は免れ申候如何に光線を好む者もこの强烈なる熱光は餘り有難く存じ申さす候(未完)

台水送別會句錄

(大長節の日馬頭山間春園に於て)

萩

雲凉し宮萩に人も蘇る　虎耳
大食の我に蕊あり萩の莚　大痴
野袴の褪せなり萩の露　大塊
竹庵の庭や崩あり萩の宴　同人
一句なきものは一蕊あるべし萩の庭　崖城
庭の萩むさぼり看つ秋の夕　同人
萩押分けて綳帯捨つ寧み　皐天
石切りの粉散りて萩折れたり　同人
萩の葉に風吹けり熱の覺ゆる日　我羊
薔薇寂び萩起伏して茂り咲く　同人
萩太野の猿に國を迷ひ來し　鳥堂
萩に蒲團置くベンチしぬ　同人
幕裾萩に結ぶ西日となりぬ　坡柳
園深き萩に鋏の立つ　同人
萩の庭今日天長節の粧に　洪塗
花夕松の本間を人動く　靜軒
花より團子とは言はせない今日の萩　洪塗
日落ちんとして古殿の萩靜か　一象
主人無性にして萩の茂り過ぎ　台水

送別

實はじけのする草足にまつはりぬ　坡柳
星飛ぶや秋の俳坐を淋しうす　皐天
七洲の遊眞帆の榮や秋舟路　一象
君送る句案に虫のしきり鳴く　靜軒
杜石を惜む吾等の秋のくれ　虎耳
舞ふ鶴の飛行くかと高麗の秋　洪塗
六朝の箏に秋寄の便哉　同人
君行くや一句とめし萩の宿　崖城
萩に搖る蟲聲々の別れ　鳥堂
往く友と萩一面の眺め哉　大痴
時に別るけふ君送る萩の宴　大塊

留別

二百十日の風に飛ばされし一葉なり　台水

婦人公論 九月號

連載小說 捨兒……森田草平
短篇小說 紅屋の娘 長田幹彥 ■小靜……久保田富江
驟雨の中から出た十八枚の小判が、米付の御前に返さうとする…
新鮮な野菜を年中貯ふるには……花房
玩具の話 岸邊福雄 ▼脱毛を防ぐ法
舞踊の話…田中 ▼大正新女大學 井上博士
婦人の典型…三宅博士 ▼新變化夜話 成瀨校長
女子の道德の淵源 ▼基督教の觀た女子 海老名彈正 ▼佛教から觀た女人…大內青巒 ▼神道から觀た婦人…平田盛胤
優等生落第生を出す家庭 三輪田良輔
力士の女房 ▼歐米婦人の音樂趣味 小倉末子
巴里の女 ▼家出女の研究
二千の會葬者を悉く泣しむ…
新續 カチューシャの話(島村抱月) カフェー女(職業調)記者
連載小說 兩國の秋 岡本綺堂
東京本郷西片町十番地 中央公論社 振替東京四〇番 定價廿三錢

東京法律事務所 特許課
特許辨理士 吉田三市郎 特許辨理士 田坂貞雄 特許辨理士 中川五郎吉 特許辨理士 山崎今朝彌 特許辨理士 阿保淺次郎 特許辨理士 佐々木庸市郎

趣味の世界
▼建國々民の趣味 萩野博士
▲日本趣味の粹…佐々博士 ▲かな初學の心得…坂正臣
▼獨逸の芝居 上田敏 ▼禮儀と作法 松崎双葉
▽英雄と瓢簞の趣味 秋山久作 ▲初秋の句評…內藤鳴雪 ▲能面の話
▽畫を觀るの要訣……遊翁 ▲家庭と小鳥 黑川技師 ▲現代女流歌
▽住宅の建築と趣味 三浦元秀 ▲月見料理
▽紅葉美の盆樹に就て 魚鹽山人
▼重陽節及び古事意見 ▲琴歌「熊野」
▲花道近來の傾向及び將來の花型
小說 仙ちゃん 三津木春子
九月號 定價金廿錢 趣味之世界社

朝鮮彙報 大正五年九月一日 (定價貳拾五錢 郵稅貳錢五厘)

口繪 西域培剛和卓寬集女體佛塑像 西域吐魯番發見集羅漢像及神像壁畫 全羅南道の孟宗竹林 濟生院養育部農場並盲啞部狀況
□酒稅令の要旨……度支部長官 荒井賢太郎
□全羅北道農業所見……總督府技師 中村彥
◎大正四年度濟生院概況◎臨益水利組合事業概要◎水害狀況◎東京に於ける朝鮮米◎朝鮮對大阪貿易◎七月中の朝鮮貿易◎滿洲に於ける朝鮮銀行小額紙幣◎各道主要農產物及工藝品◎稻作狀況◎醬油製造人員造石數及價格◎朝鮮北部に於けるニセアカシヤの生育狀況◎國費經營造林事業概況◎栗の播種と被土◎朝鮮在籍船舶數
■朝鮮施政の眞義……中樞院書記官長 小松綠
七月中の鐵道運輸◎經學院講士地方巡回講演の經營◎內地學校視察報告◎不動產登記制度◎不動產登記令の施行並地方法院出張所の設置◎警察賞與◎森林と雨量との關係◎孟宗竹林に關する調查◎平壤聯合基督教大學校長アール、オーレーナー氏新任式演說◎支那地方官々制◎僧フランソワ、グザヴ井エー◎地方通信◎雜報◎質疑應答◎叙任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例
□印度視察談……總督府技師 阪出鳴海
□臺灣の私設鐵道及軌道……鐵道局參事 鷲尾弘準
▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 東京神田巖松堂 朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

醇良清酒
仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

會員募集
講師 東京高等工業學校教官三十餘名
工業講習錄
日本に只一つある實用的新工業講義錄
機械 建築 電氣工學
見本進呈 見本は必ず郵券を添へて申込め
大日本工業學會

蒙古軍の引揚開始
北京政府は張督に追撃を命ず

郭家店に於て支那軍と對峙中なりし蒙古巴布札布の軍は帝國の調停に基き一日より蒙古内地に引揚を開始せり支那政府は張作霖に蒙軍の遼河を渡るを待ち攻撃す可き旨を命じたる如くなるも實行せざる可し（奉天特電）

支那軍背信
歸途の蒙軍及我兵を邀撃し
我兵苦戰して全滅す

二日朝蒙軍は我公主嶺騎兵數十騎に護送され退却したる途中支那軍は三日午前新家崗附近に待受け蒙軍を突撃し之を中止せしめんとせし我兵をも併せ攻撃し我兵は苦戰の後終に全滅し蒙軍亦死傷多大なり尚ほ交戰中なりとの報三日午後二時公主嶺に達し直に應援隊出動せり同地は非常の混雜なり（奉天特電）

（別報）三日正午遼河の西岸にて再び蒙支軍の戰鬪開始せられたり護衛の日本騎兵も參加し居れるが公主嶺より歩兵一部隊直ちに應援の爲め出發せり（長春特電）

國務員同意案と參議院

參議院は來週月曜日を以て國務員同意案に對し投票を行ふ可く同院が全部を通過す可きや否やは疑問なり（北京特電）

希臘王遂に退位す
全國總動員發布の説あり

サロニカ來電に依れば雅典より來れる敵の報道に曰く希臘國王コンスタンチヌは退位して皇太子が攝政に任じザイミス氏は依然首相として留任しブエネゼロス氏をして援助せしむる事と爲せり而して全國總動員令發布せられたりとの説あるも未だ確報なし（倫敦電報）

希臘の兵營包圍さる
激戰の後降伏―又一要塞も降伏

サロニカ來電に依れば憲兵及びブエネゼロスは希臘の兵營を包圍し慘憺たる激戰の後守兵はサライユ將軍の仲裁に依り遂に降伏を餘儀なくせられたり又ブオデナの守兵は革命黨に加盟しサロニカ南方のレッシカツブルス要塞の守兵も又包圍せられて降伏したり（倫敦電報）

希臘の革命黨活動

サロニカ來電に依れば希臘國内には引續き動亂起り國内の空氣全く一變したるを以てマセドニアの一部も久しからずして革命黨に反對せざるに至る可し而して革命黨は今や總ての政治機關を手中に納めたるを以て全國總動員の布告を發す可し又サロニカ革命黨員は布告を發して政府が外國の利益の爲め道具に使はれ殘酷なる敵國に祖國を賣切りせる事を非難し國民の名譽を毀損せる皇帝に忠順なる政府を倒すは愛國的義務なりと叫び希臘は今や選擇せられたる政治家と國家的の手に依つて其運命は決するのみと云へり（倫敦電報）

巴爾幹の形勢
愈々最後の大[illegible]

[illegible]りては何れも非常なる歡喜を以て之れを迎へ士氣頓に昂[illegible]
▲羅馬尼の蹶起を以て何[illegible]興ふるものにあ[illegible]
[illegible]尼の參[illegible]る獨墺軍に比ぶれば又同一の論にあらざるや勿論なり然れども羅馬尼の蹶起が聯合軍に與ふる重大の影響は[illegible]
[illegible]給を遮斷し得可く羅軍の勝利果して此豫想に反せずとせば聯合軍の爲めには多大の好影響を受くること言ふまでもなく[illegible]
[illegible]

勃軍希臘退却開始か

サロニカ來電に依れば、勃軍の希臘退却は既に開始せられたるものゝ如し（倫敦電報）

英佛軍艦希臘に著す

雅典來電に依れば英佛兩國の軍艦數隻ピレウス港（雅典の西南五哩）に入れり（倫敦電報）

塞軍露軍と連繋す

塞身組軍數隊は露軍と協同動作を取りつゝ羅馬尼地域に進軍中なり（倫敦電報）

抑留獨逸船に佛國旗

雅典來電に依れば、希臘ピラエウス港に抑留せられたる獨逸商船四隻墺太利商船三隻に佛國々旗掲揚せられたり（紐育電報）

露軍各方面に優勢

露國公報に曰く、我軍は昨日（一日）戰鬪の起りたる諸地方に於て敵將校二百八十九名士卒千五百五十一名を捕虜とし砲六門機關銃五十五個を鹵獲せり敵はウラジミルツオリンスク（ガリシヤ南部）の方向に於て猛烈に攻撃中なり又アレクシネツの西方に於ても激戰進展中なりハリツ（スタンスラウ北方）の方向にも激戰起り我軍はトムナチクセン地方のカルパシアン山脈一帶の高地を掠奪し且つドルマブアツラ地方西部に於て少しく前進したり而してカフカサス方面に於ける土耳其軍の攻勢はグミシアン西方に再び攻勢をとりたるも到る處撃退せられたりオグノー西方の攻撃も亦撃退せられたり（倫敦電報）

露國行小包再開

浦鹽斯德便に依る露國行小包郵便物の逆送は一時停止中なりしが三日敦賀發鳳山丸便より再開されたり（東京特電）

駐米大使赴期

駐米特命全權大使佐藤愛麿氏（家族を同伴せず）は十六日午後三時横濱解纜の横濱丸にて赴任の途に就く可し（東京特電）

三宅博士來鮮

理學博士三宅驥一氏は三日午後壹岐丸にて著釜同十一時發列車にて京城へ向ふ（釜山特電）

京電の增資
社務刷新と九百萬圓增資計畫
會社長 大橋新太郎氏談

京城電氣會社の經營も内部の整理刷新と共に堅實なる發展をなしつゝあり、元來本會社の事業は電氣と謂ひ瓦斯と謂ひ、電氣鐵道と謂ひ何れも

▲公共的性質 を有し普通の營利事業とは其の趣を異にするが故に其の經營は自から特殊の方針に出づるを要する也、殊に或る一定の地域内に於て他の競爭を許さゞる獨占的特權の下に事業を經營するに於て本會社の公衆に對する責任は最も重大なりと謂ふべく從て會社内部の組織は素よりの事業其の基礎を鞏固にし事業の堅實なる發展を期し以て公衆に對し便益を增進するに之れ努むべきは實に會社

▲當事者の義務 に屬す、之れが爲めに不肖本會社の社長として任せらるゝや既往に於ける本社經營の狀態に鑑み公共的性質を有する營利會社の職分を考量し一面には會社の制度財政の改革整理一面には事業の充實的發展により公衆の利益を計ることゝし爾來鋭意此の方針を執り既に改革整理の事は其の緒に就き此れよりは事業の發展に向つて專ら力を致し得るの運びとなり本會社の事業は當初新企業に非ずして既存の經營者より事業を讓受けたるが爲めに

▲資本の固定狀態 は自然單純なる能はずして複雜となり或は重複を來せるもありて經營上不都合を感ずること久しく從て收益狀態も良好とは云ふ能はざりしが昨年度は京城に共進會の開催を見たる爲め電氣電車瓦斯を通じ需要增加し收益も之に伴うて增加せり本年に入りても格別前年好況の反動もなく一般に營業狀態は良好なるが之は都市に於ける生活程度の昂進し公衆の間に文明的施設の利用の增進せしに因るものなるべく其の斯くの如き趨勢にあるは本社事業の性質として當然の事なりとす。然れども會社としては事業經營による收益の增加せしが故に直ちに配當を增加するが如きことをなさず先づ年來蕪雜に流れ來りし固定資本の償却に意を須ゐ努めて會社の基礎を堅實ならしめんとす、昨年の如きは偶ま共進會の開催に因りて豫期以外の收益を見たるのみ謂はゞ臨時收入に外ならず、之れを以て直ちに增配に充て株主をして喜ばしむるとも又や減配に出づる事萬一あるに於ては

▲株主の感情を弄ぶに似て不都合なる故臨時的收益は經常支出の財源に加ふるよりは別途の資源とするを以て最も適當の方法とすべし、此の方針の下に當分の增收は固定資本の償却に充て暫らく業務の成績に徴し愈々前途發展の希望確實なるの曉には株主配當を增加すべきは勿論なり本社事業は公共的性質を有するが故に些少の故障も直ちに重大なる公衆の不利不便を來すべく之が爲めには先づ施設を完全にするを最も急務となす、之れ余等が當に固定資本の償却を念として更に擴張改良を期する所以にして明年度には現在六百萬圓の

▲資本金を九百萬圓 に增加して一層事業の擴張改善を期する方針なり增資の時期は未だ確言し得ざれど方法は舊株二株につき新株一株の割合にて增資する事となるべし

永茂自動車開通

京釜線永同茂朱間（六里）の自動車本月廿一日より營業開始せられたり忠北自動車組合永同支店の經營にして大人一人片道賃金一圓五十錢途中黑井里、鋤山里、鳳龍里に停車す一日二回發著にして永同發は午前八時二十分午後二時著は正午、午後六時なりと

滿鮮露巡遊所感（三）
朝鮮銀行の活動＝日本人の大責任
早稻田大學教授 永井柳太郎氏談

滿洲では到る處で朝鮮銀行が盛に活動して居るのを目撃した。殆ど要所々々には支店なり出張所なりが設けられて居て、營業振りも勉强して甚だ活潑であるといふ事を土地の人から聞いた。大體からいへば銀行としては滿蒙の土地に對して猶調査し研究すべきものが甚だ多いのであるが

▲朝鮮銀行は 既に幾組もの視察班を出して實地踏査に怠りなく予の巡遊した地方には殆んど朝鮮銀行の視察班の足跡を認めない所は無かつた。之に依つても朝鮮銀行の抱負と活動の一斑を窺知し得るのである。殊に最近に二回までも成功した奉天省借款の如き、若し難癖を付けるとすれば奉天省で借りた金を實際如何なる費途に充つるかといふ探捜が行届かなかつたらしいといふ一點であるが、成効は立派な成効であつて此勢を以て放膽的に積極的に發展して貰ひたいのである。そうすれば

▲滿蒙銀行と いふ樣なものを殊更に設けないでも朝鮮銀行を以て、優に滿蒙に於ける經濟的要求に應じ得ると思ふ。即ち經濟的の滿鮮統一は自然に出來ることゝなる。奉天では督軍張作霖氏に會見して面白い話をした張督軍曰く、熟ら今次の歐洲戰爭を觀察して強國として立つには國家として三要素を有たねばならぬ事を知つた。一に金力、二に武器、三に死すべき人である。然るに我が民國に於ては死すべき人として四億の多數を有つて居るけれども、金力と武器とに於て全然缺如して居る。然るに貴國（日本）は

▲金力と武器 とに於ては缺ぐる處ないが、死すべき人に於ては我が民國が遙に多數である。此有無相通じて宜しきを得ば、東方の事亦憂ふるに足らぬと思ふが貴意如何。予は之に對して人多しと雖も無教育なれば烏合の衆である、更に教育の一項を加へて高見に贊成すると返答した張督軍は話頭を轉じて又曰く。貴國の人士は頻に民黨を扶掖指導せんとするの意あるや否やに對して近來一個の疑問を懷抱して居る。如何となれば或者は南方に與し、或者は北方を助け、或は宗社黨に加擔し又今回の蒙匪の中にも入つて居つたといふことである。と。予は之に答へて、貴國に於て南方、北方、宗社黨、蒙軍あるが如く我が

▲日本に於て も亦人々其見る所を異にし、已れと所見を同じうするものに加擔して居るのであつて極めて簡單明瞭の問題であるといつたら直に了解した。之とは全然別問題であるが先驅者として大陸に活動して居る日本人は、内は日本人同士で相排擠し、外は支那人に對して抱擁力なく、事毎に喧嘩腰で小さな事端を開く事の頻繁であるのは、甚だ遺憾であると思ふ。殊に滿洲から露領沿海州方面に懸けては近來朝鮮人の出稼して居るものが少くない。奉天では昨夏以來僅に一年間に立派な朝鮮人街が出來て居たのに驚かされたが、進んで

▲露領に入る と更に其數多く、且つ日本人に對する態度が全く一變して了ふ。哈爾賓で朝鮮人街を視察しやうと思つて出懸けて見たら彼等は吾々に石を投じて近寄せなかつた。日本人は出先きに於て此等の朝鮮人をも指導し保護し援助しなければならぬ大責任を新に加へられて居るのである。吉林で土地の有力な某支那人に會つた時其支那人は斯んな事を語つて居た。曰く、吾々は今日何よりも生命財産の保障を熱望して居るのであつて、其警察保安の任務に膺るものは支那官憲たると

▲日本政府の 役人であるとを問はぬ。試に日本政府で南滿一帶の地に警察權を行使して貰ひたい、吾々は其安全なるを認めさへすれば一刻も早く安全地域内に移住して、其保護の下に生活したいのである。と日本人は此氣合を了得して欲しい（終）

人事消息

▲矢本正平氏（海州地方法院判事）入京中の處三日夜退京

南言北語

經濟會議に出席した阪谷男は目下瑞西に滯在し獨逸の現況を研究して居る▲其の近信の一節に獨墺兩國の食糧に窮して居る事は事實で之には一々明確に説明することが出來る▲が食糧の缺乏した爲に媾和が早く成立するだらうと觀測するのは大なる謬見である▲却々獨墺はこゝ二三年は困みさうにもないとあつた相な▲困むか困まぬかは知らぬが食糧が缺乏して戰爭が出來るのかい腹が減つては戰爭の出來ぬ事は千本櫻で藤太君が喝破して居るではないか▲殊に今度羅馬尼軍が無人の境を行くかの樣にグン〱墺匈國に侵入し▲一方からは露軍が押し寄せて來て獨逸唯一の同盟國も片息になりかけたではないか▲其れに最う勃牙利も土耳其も顎の爪を捲がれた樣な有樣になつて道ふ事は道ふても大概命數は知れて來た▲獨逸一人が二三年間まずに居るからと思つて聯合軍が行つて見たら木伊乃が澤山あつたなんて面白からう▲今度大分器量を揚げた蒙匪巴布札布は其の引揚げに際し殊勝にも傷病兵看護の爲に盡瘁した日本赤十字救護班に千圓郭家屯地方戰鬪に對し損害を與へた事及び一般の好意を感謝し同地附屬地公共費中へ五百圓▲同地附近兵燹に罹りし住民救恤として二千圓と同地方農作物を蹂躪された者へ千圓と▲四千五百圓也を惜し氣もなく謝禮と救恤に投じて悠々蒙古に歸る相な▲亂暴な支那兵とは實に比ものにならぬ行動だ▲斯う云ふ連中が虎視耽々として蒙古から中原を狙つて居る以上支那は何うしても枕を高くて寢る事は出來まい▲勝負でも何でもないが矢ッ張り巴布札布は偉い

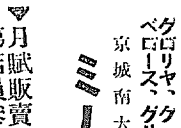
鷺村成嶋淑士編著
朝鮮名勝詩選
四六版最美本六百三十頁　定價金壹圓卅錢　郵税金拾錢
（今回五百部を限り 特價八拾錢）

鷺村成嶋氏は詩人にして又劍客なり併合前未だ韓國政府時代に夙くも渡韓警察官となり劇務に鞅掌する傍ら鋭意半島古來の文章を繹ね特に名勝詩賦の蒐輯に志し眼を舊記に曝らし遍く諸家の稿本を渉獵し或は親しく實地を踏査し收むる所實に二千有餘篇に及び名けて朝鮮名勝詩選と云ふ輯集する所新羅以降李朝各代に大家の吟詠に係る金聲玉音にして優に其時代の文章を代表し餘あるのみならず其地理沿革傳説等に至る迄之を擧げ巨細を悉し不滅の光輝を生ず燈火親む可き季節劈頭の好讀物也

賣捌元　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
大取次　大阪屋號、日韓書房、巖松堂　其他各地書店

新日本
中心勢力の移動を論ず　大隈侯爵
◎日英の政情　田川大吉郎　◎失意の人得意の人　野村胡堂
文明と犯罪、貧乏、病氣　法學博士 牧野英一
◎資本の供給力と消化力…氣賀博士　◎世界の獨逸化か獨逸の世界化か…北澤新次郎
日露の新研究　▽日露貿易の將來…若槻禮次郎　▽警戒すべき猶太商人…正教神學校長 瀬沼恪三郎　▽露國人の二大特質…外國語學校教授 八杉貞利　▽露人の熱望する日本商品…早稻田大學教授 シユミツト　▽露國文學の社會的意義…露亞教授 昇曙夢　▽最近の露國農民　▽露國の普通教育　▽同貿易の趨勢
◎暗中飛躍の人々　細井肇　◎狸の腹つゞみ　中村博士
日露協約と國民外交　早大教授 大山郁夫
◎角帽の本郷（東京新繁昌記）山口孤劍　◎最近の美術界　木下杢太郎
脚本 闇夜…坪内士行　◎今日の世界　▽獨逸の苦心▽戰塵續▽交戰國と生活費△家庭問題▽耳鳴の注意其他重要事件卅二種
九月號　郵税共三十二錢　六冊前金一圓八十六錢
東京神田　富山房　振替五〇一番

日韓書房
新版報告
森田幸次郎著 常識養成 碁道大觀　定價一圓半 送料十八錢
朝鮮總督府編纂 朝鮮林野分布圖　定價三圓 送料十二錢
朝鮮總督府見習雇員普通文官試驗問題及解答　定價六十錢 送料六錢
總督府教育學術臨時增刊 修身教育法製經濟綱要　定價一圓廿錢 送料十二錢
原田友己著 改訂考試提要　定價四十五錢 送料八錢
發賣 京城本町二丁目　電話一四五[illegible]番　振替口座[illegible]一一五番

◎ミノヤ◎

▽表通りは目下道路改正工事中に付裏通りより御來店の程奉願上候
グロリヤ、クリスト特約店
ベローズ、グリンタイヤ
京城南大門通二丁目
ミノヤ自轉車店　電話二三七三番
▽月賦販賣及月貸自轉車は御一報次第店員參上仕り特に御相談申上候

……戰局の焦點は今や全く巴爾幹に集中せるものと觀る可く羅馬尼の參戰は……起は獨墺をして甚だしき悲憤と失望に陷らしめたるに反し聯合國側に在……事專門家中には今……

……を交へ羅軍優勢……一千五百噸の……點を占領せんとしつゝあるが如し……羅馬尼今回の聯合軍參加は再び巴……

……傳へらる……と共に瑙川炭は我關門方……面を攻擊すると同時に勃牙利を衝い……て巴爾幹を橫斷し以て獨土の交通連……

▲希臘はサロニカに聯合軍を上陸せしめ其行動を自由に任せ……四五十萬の兵を得……艦は二十五……

不老不死の靈藥（二）

神樣の喰べるやうなものを喰べればならぬ

不可思議の藥の効能は大體述べた通りであるが今少し効果を付加へて置き度いと云ふのは此の藥を呑むと偉大なる體力が現はれるばかりではない殆ど飛行自在の術をも得られる人に由つては四五百貫位の重さの物を持つて一日に二十里から三十里位は走行る事も能きるまだそればかりではない生れ付の如何なる病氣も生れてからの後の如何なる難病も忽ち治つて終ふ其ればかりでなく男女共に永く肉體にも精神にも少しの衰へも生じて來ない藥の効能はまだ〳〵これ丈けではない

犬の鼻の如くに嗅覺は敏く成て

凡てのものを嗅ぎ分ける事が能きる目は猫の如く暗い中でもよく物の見分けが付くやうになる斯くの如き靈妙不可思議の藥を服用して其の効果の現はれたる人を朝鮮では藥借力と云ふが轉じて此の藥をも藥借力と稱して居る扨て愈々此れから藥の製造法を御紹介して此の偉大なる効果の偶然ならざる事を御知らせする此の藥は甚だ多數の貴重品がコンデンスされて

一種不可思議の藥力を示現する

のである先づ人跡絶たる深山の兎の糞だの獐の角、麝香、膃肭の臍、人參、若い女の乳、銅屑、虎膽骨、雲母、海狗腎、附子其他不思議の動植物などが取り合されて居るが同じ銅屑と云つても一錢銅貨を削つて藥へ混ぜ込む譯には行かない靈藥用の銅屑を作るには純白の牝鷄に二年間ばかり銅屑を混せた餌を與へて飼つて置くさうして二年後に成つて其の鷄を殺して脊髓骨を割つて見ると脊髓の中は緑青で青く成つて居る此の

青い骨の粉末が靈藥用の銅屑で

ある亦海狗腎と云ふのは元山地方の神合にある海底の岩礁中に住む海の猛犬であるがそれも牡狗の腎臓に限られて居る之れは專ら若い美しい海女が噛まして獲つて來るのであるそうだが此の際海女は往々生命を終る事もある此の海狗と云ふのが普通の朝鮮犬と少しも異ならないそこで藥舗師はそれが海狗であるか陸犬であるかと云ふ事を試すには其の犬の腎臓を切取つて碗の底に容れ其の上に白米を詰め其れへ蓋を覆ふせ

其蓋に若い女が腰を掛けて居る

と何時の間にか狗の腎臓は白米の上へ抜け上つて居るさうである普通の犬の腎臓には此んな働きは決して無いからこれで海狗であるか否かは直ぐわかるわけであるさて斯樣にして材料は蒐まつた處で此の藥の錬り方が亦非常に難かしいのである先づ此の靈藥は何によりも最も鷄犬の聲を嫌ふから深山の洞窟中に籠るかさも無ければ大洋中に舟を泛かべるか兎に角

犬や鷄の鳴聲の聞る心配のない

處へ行つて錬り合せるのであるが此の錬り合せる內も其の藥劑師が家を思つたり妻を思つたり邪淫の想念を微塵でも起せば其の藥は直ぐに腐れて終ふさて斯うして漸く錬り合せて來た藥を服用するに當つて又茲に難かしい服用規則が有る藥が有つてそれから服用心得がよく守れさへすれば誰でも直ちに半神英雄に成れる譯である

廿三年の惡夢

聞け懺悔の聲　小さな原因から大きな罪が生れる

殺人、放火、破獄、强姦、强盜、横領等の累犯者として遂には死刑の宣告迄受けた身が中途恩典に浴して刑一等を減ぜられ北海道は空知囚治監の

鐵窓の下に呻吟

すること實に二十有三年と云ふ極惡非道の大罪人が明治三十七年の四月五日刑期全く終へて出獄したのを一機會に翻然悟る所あり爾來二十二年間宗教界に身を投じて獻身的に活動を續けて居ると云へば如何に其數奇な運命の下に置かれた人であるかを識ることが出來よう其人は好地由太郎とて目下京城に滯在し各基督教會の敎壇扨ては司法官の會合又は敎育家の面前に立つてありし昔の夢物語をせめてもの罪亡しにと語る所には云ひ知れぬ靈妙の力が動いて居るやうだ如斯人こそ

◆惡に強き人の善

にも亦強いと云ふのであらう二日の午前八時記者を編輯局の應接室に訪ふての話しによれば私は十八歳の時に父の商業の失敗から遂に債權者の內に人質同樣な意味で引取られ其後父の死に次で一家は四散すると云ふ悲慘事東西の漸く判り出した位の私には餘りに重い天の配劑じやと人を恨み天を憎んだ極は何んとも云ひ知れぬ一種の復讐心と云ふものが心の內に芽を出した──折にこれが罪惡の第一歩である──それから債權者の方では犬馬の樣な取扱を受けて尙更私は此恨を晴らしたいそして

◆父の債務を果し

たいと考へた結果十三の時に主人の反對を無理に家出して其から諸所方々を彷徨し今で云ふ不良少年の間に交つて惡事を働いたが何時もながら自分の頭を離れないのは債權者への復讐社會への面當に金を儲たい〳〵と云ふ一念は離れない遂に十七才の時に或る相場師の妾で若い男と見れば誰彼の用捨なく手玉に取て投げようと云ふ凄い女と知合になり一夜其女の宅に行つて自分の意に從へハヤ從はれぬと押問答の末男の力が餘つて首を絞めたのが過り失敗つたと思つたが取返しがつかず人工呼吸も何の効もなく全く息絶ねて終つた併し

◆斯くなれば潔く

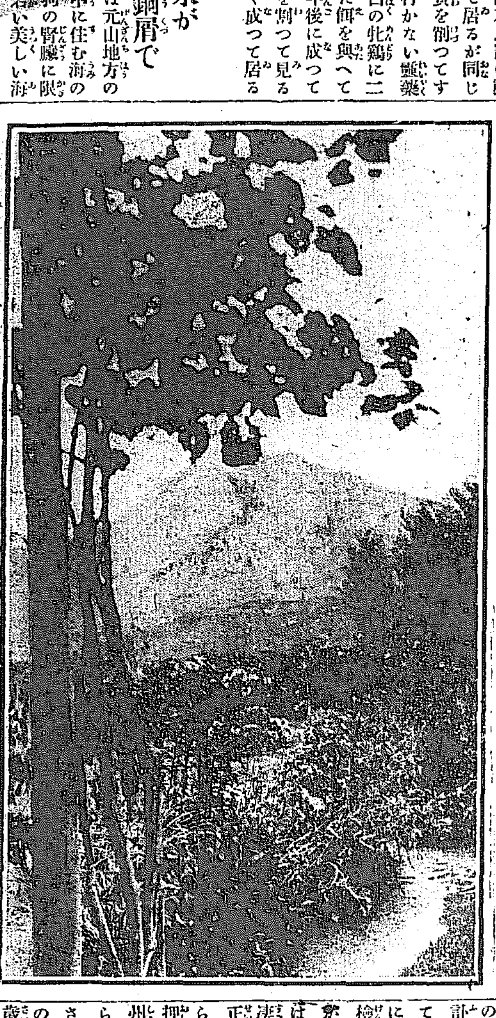
自首して出て罪を受けようと思つたが思止り盡よ斯くなる上からは毒を喰へば皿迄と證據の湮滅を圖らんため死人に石油を注ぎ其住家を燒拂つて終つた誰知るまいと思つたが遂に三箇年間未決囚として獄に投じられて居る內に自分の眞犯人であることが知れ死刑の宣告を受けて北海道に廻された入獄九年の後ち破獄を企てたが又捕はれて中途恩典には浴したが前後二十三年鐵窓生活を續けたのである北海道での長い牢獄生活の內には隨分種々な重罪犯人と同居したが何れも皆犯罪の動機と云ふやうなものは極く小さな所から起つて居る

◆私の實驗上から

の意見としては罪を犯す者よりも罪を犯させるやうにした人或は社會の方が遙かに罪が重いと思ふ不良少年少女萬引と云つた手近い例を引いて見ても社會の罪の方が重いと思はれる、一體人間が罪を犯まい〳〵と思ふやうになつた時には恐ろべし旣に其人は一部の誘惑にかゝつて居るとの事で感化事業又は法の適用を行ふに就ても大に斟酌を要する點であらうと思ふ從つて世間に監獄など云ふ言葉や不良少年少女と云ふ言葉それ自身が既に大なる誘惑の因をなすものである監獄は實に人生暗黑の大學であつて私が二十三年の間に受けた種々な經驗は

◆或る不可思議な

實數的の靈感に觸れて練練せられ昔日の極惡人は今は人道を說くやうになつた幸ひ當局に於ても私の微力を認められ各種の便宜を與へられて今日では日本全國の監獄を巡廻して重罪犯人の感化を助けると共に一面には囚人の心狀に就ても社會の研究を望んで居る次第である



△初秋郊外十景（三）　龍山で電車を捨て草原なアラリ〳〵ステツキをほうりゝき乍ら青空をあほぎつゝ行けば何所からともなくものかなしいきぬたの音が澄渡つた大空一ぱいにひゞき遠く南山の方にはまだ朝つゆの乾きゝらぬやわらかな青草の丘が起伏して何とも言へぬすがすがしい氣持ちだ……（ぶどう棚の下にてートミー）

檢事正射殺事件

海州全體上を下への大騷ぎ

兇變後報

▲檢事分隊長來著　海州地

方法院氏野檢事正が奥山憲兵佐長の爲射撃せられたりとの急報二日其管轄上司なる平壤覆審法院に達するや向井檢事長は即日三井檢事を海州へ急派し同夜海州に來著事件の取調べ且つは氏野家に關する萬事の協議に參し居れり又兇行者奥山佐長の上官たる載寧憲兵分隊長杉山大尉も即夜來著憲兵本部に出頭兇行の原因等に就き取調中なり

▲覺悟の遺書發見　青石頭

派遣所なる奥山佐長の室にて即日遺書を發見したるが杉山分隊長及び友人竹村上等兵其他姻戚者に宛てたる者六通なりし由なれば無論覺悟の上の兇行たりし事は明瞭なり（海州電話）

▼前日の檢事正

海州判事矢木正平氏談

私は京城日報二日の夕刊を當地の清光館で見た際實に驚きました何とも申されない哀感が催うして氣の毒とも何とも譬へ方なく暫時は呆然としました私は賜暇を得て九月一日に海州を出發して京城に來たもので檢事正の前日即ち一日午前九時頃裁判所で氏野檢事正に挨拶をして出發したのが最後の訣別であつたのです此の計報に接して前後の事を考へ合はせて見れば檢事正の當日の樣子が如何にも眼前に幻覺するやうです其節の檢事正の口吻が甚しく荒ら立ち顏色が平素と異つて青黑くて口の邊りには亢奮した神經が見わ殊に眼光が物凄く光つてゐたのでありました檢事正は豫て御家族同伴で內地へ歸省せられ歸任の途次釜山では虎疫一件で押止められ八月三十日午後三時頃海州に歸着され三十一日は祭日にも拘らず出勤され八月一日も同樣に登廳された次第です官舍には夫人と夫人の母堂と當二年生位の令嬢と五六歳の令息と別に下女が居るだけで隨分お淋しい事でありませう、檢事正は隨分多方面に趣味を持たれてゐたやうで圍碁もやれば撞球も三十位に達せられ、狩獵銃器もあれば寫眞機も持つて居られた

▼慘劇當日の海州

海州慈惠院助手入京談

當日海州慈惠醫院にて加害者奥山佐長に應急手當を加へし際親しく同人の終焉を目撃し二日午後同地を出發して這回海州慈惠醫院助手より濟州島慈惠醫院に轉勤赴任の途次入京したる金光熙氏は當日の模樣を語りて曰く

▲兇行前の奥山

何分海州の狹い所に發生した大事件の事とて人々の驚愕は一方でなかつた、私も兇行當時の模樣は知りませんが人々の噂に依りますと加害者なる青石頭派遣所の憲兵佐長奥山高治（三一）は數日前より既に海州に來て南本町の旅館朝日館に投宿し九月一日夜は午後十一時頃迄料理屋一山で遊興し更に二時頃迄散々に騷ぎ廻つた上、同家に泊り込んだ上二日午前七時頃豫て用意の黑紬五つ紋の羽織に立派な袴を穿いて氏野檢事正の官舍を訪問した、而して其際は郡廳の役人だと詐稱して面會を求めたといふことである

▲兇行時の模樣

檢事正の官舍は朝鮮式の建物を改造して應接室は別に洋館を建增してあるもので其れへ案內されて待つてゐる內、檢事正が其室に足を踏入れた刹那除て用意の拳銃を胸部に差付けて一發發射したものらしく爲めに檢事正は左胸部第六の肋骨と鳩尾との間を射撃されて肺を撃たれ打倒るゝを見澄ました奥山は搾ち直したる銃先を自分の前額部顳の下に押當て、發射し自殺を企てたものである

檢事正は間もなく官舍で絶命したが奥山は虫の息に陷り氣息奄々たる有樣となり居るを奥山が自殺の爲發射したる二發目の銃聲に初めて覺知した檢事正の夫人が應接室に駈け込んだといふ位であるから兇行は實に瞬時の間に於て極めて迅速に敢行されたものらしい

▲醫院にて絶命

急報に接し慈惠醫院よりも多數の醫官醫員等が出張し直ちに鮮血に染まつてゐる奥山を慈惠醫院に擔ぎ込んで應急手當を加へたけれど約四十分の後遂に絶命した、同人は大男で柔劍は餘程達人であつたといふが打見た所頗る頑强な體格であつた當日は海州全體上を下への大騷ぎで憲兵隊本部も裁判所も普通の事務が取れなかつたといふ程であつた

◎入浴して大喜び

南洋へ歸る　土人の觀光團

南洋新占領島ヤーア、トラック、サイパン、マーシャル、ハポノペ七島の酋長及び島民より成る一行四十三名の日本內地觀光團は歸國の途中三十一日門司に著し港內碇泊の汽船三吉野丸に乘船したるが機關に故障を生じたる爲め延期して三日正午出帆せり滯在三日間は船中に起臥し二日初めて門司市の鎭西橋にて渡日以來の水浴の代りに入浴せり湯槽に嬉々として戯れ『左樣なら』『難有う』など盛んに日本語を操り（門司特電）

別府溫泉より

▲平壤府尹の本田常吉さんは腦溢血後の神經衰弱に罹り、六月末から夫人と一しよに別府溫泉に轉地してゐられます ▲府尹は別府で有名の町有溫泉不老泉が近くに一戸を借り受け、殆んど一切關せず養痾に努めてゐます、いかに府尹が別府に落着いてゐるかは其書狀の如き別府町本田常吉樣若くば大人の名で何の面倒もなく配達人により配られる事で分るやうです ▲長い滯在の間に本田さんは何をしてゐるかと云ふに、毎日々々散歩が日課との事です、別府を中心として鐵輪堀田觀海寺少しく遠出すれば耶馬溪に杵築大分あの邊は名所が多く、其の地方には必らず幾つかの杖を曳くに足る溫泉閑雅寺院地獄等があり升 ▲府尹は毎日々々其の訪問をやつてゐます然し府尹の見物は觀人鑒めの見物でなく、步かん爲めの見物であるから、假へば海地獄を見た序でに其のすぐ四五町横の八幡地獄を探らない、必らず日を改めて八幡地獄に出向くと云ふ風ださうです ▲ソレに府尹は必らず膝栗毛に鞭を打つてゐる、斷じて車馬を用ゐない、チクる內には同じチク見物仲間の色んな友達も出來るらしく過日鐵輪往復に大變懇意になつた男がありました、其男は分れる時濱脇何番地にゐるから府尹に散歩の序で寄つて呉れと云つてゐたさうです ▲其後本田さんは夫人と友人同伴妓樓と商店が交互に並んでる濱脇に遊んだら一妓樓の軒下から鐵輪往復の親友が面を出して恐ろく府尹に是非立寄るやう勸めました、で府尹は其親友の妓樓の妓夫たるを知り夫人の手前友人の手前少なからず面喰つたとの事です、旅では色んな事があるものです ▲但しもう肉も大につき血色もよく非常に健康になられたやうだ、それに散歩の場所も盡きたこの頃ですから近く歸られるでせう（B生）

◎暴風警報

（九月三日午後三時發）▲警文　風雨强かるべし ▲低氣壓位置　黃海中部 ▲低氣壓示度　七百四十八耗 ▲進行方向　東北東 ▲記事　南西風强し ▲警戒區域　咸鏡南北道江原道の沿岸及び內陸

（九月三日午後三時發）▲警文　風强かるべし ▲低氣壓位置　黃海中部 ▲低氣壓示度　七百四十八耗 ▲進行方向　東北東 ▲記事　南西風强し、降雨あるべし ▲警戒區域　慶尙南北道の沿岸及び內陸

京日案內

普通一回前金一行三十錢　番外六十錢　一回五錢增無割引

普通

◎店員入用　年齢十七八歳以上の者確實なる保證人を要す本人來談　龍山漢江通電車終點前　龜屋雜貨店 174

▽古刀名器大全　九冊五圓八十錢　京城本町・振二二三　◎ツッボヤ書店 165

◎外交員募集　日本火災保險會社生命保險會社代理店　京城永樂町二丁目六〇　德田商會　電話二三二五番 173

◎製藥に經驗ある者二名入用　△青葉町二丁目百二十番地　△大橋大三郎 153

◎地所家屋讓渡　總坪數百廿餘坪建坪十七坪木造平家建別に溫突四間　善隣商業附近櫻井町一ノ卅四　弓場 160

古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店 163

◎店員募集　年廿二歳より三十歳迄販賣に充分經驗ある者本人來談　大和町二丁目　吉橋醬油釀造所 149

◎松汀里光州間自働車は太田木浦凡ての列車に聯絡す　△光州加藤自働車運輸部

◎當地皮膚? 內各地方外務員日鮮人募集望者履歷書持參照會要返信料　京城大和町一ノ五一　日鮮恒榮社 169

◎十六七歳男店員數名雇入希望者は至急來談あれ　新龍山三角地前　陸軍御用菓子商　石見堂　電三二一番 166

習字（日錄進呈）御手本類は何でも有ります　東京市九段下電車通り　精華堂法帖店 72

◎血の道 ◎名灸　氣腫　胃腸　根治　若草町若草湯前　堀內正文堂 94

◎馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局）125

◎外務員募集◎　京城旭町一ノ一二八　愛國生命保險會社出張所 145

◎代診生徒雇度（委細面談）年三十四身元確實にして多年有經驗望地方（姓名在社）155

地方外交員募集資金五拾圓を要す　京城旭町二ノ六　パイン萬年筆出張所 161

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試驗を乞ふ　△御報參上 △本町四　電話二七八一番　△青柳書堂 161

番外

▲下宿屋讓る　市內出入に至便にして有望なる場所歸國の爲め居抜き讓る御希望の向は御來談被下度候（姓名在社）175

原木廉價賣却　鴨綠江材　胡桃等約二萬五千才賣却す御望の方は左記へ來談あれ　◎京城黃金町二丁目百四八番地　小林里次郎 154

◎湯屋讓る　場所大和町二丁目の儀にて讓り渡したし詳細の事は本町二丁目釘本商店電話四五、二七に御聞き合せあれ 138

間合自働車　京城春川間　貸切片道四圓　京城發前七時半　春川發前七時半　京城水標橋通り　京春自働車商會　電話參八番　支配人松田壽男 82

礦物定量分析　京城府太平通（朝鮮公論社左小路）電話一三四四番　坂元分析所 95

恩給年金類　立替　▲秘密 ▲長期 ▲低利　▲商品陳列館表門前 ▲京城永樂町壹丁目　江州屋本店 139

恩給年金立替　一利月一歩　大正館前向　櫻井町　並諸公債株券取引　博多屋本店 142

樂器買入　古オルガン、バイオリン、ピヤノ　金銀買取候　取次電話六七七番　京城大和町一の三五　杉野樂器店 159

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も廉價可に迅速と可懇親切を旨とし御高需に應候　京城日報社　寫眞製版部

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
禮法かゞみ	甘野猶雄	一五〇
續世界山水圖說	志賀重昂	一六〇
埋木	長田幹彥	一五〇
タングステン モリブデン	豐原信一郎	六〇
工場法要義	田邊好一	六〇
藝者と待合	石井美代	四五
大英國の危機	宮家譲男	七五
成金物語	手塚伊之吉	四〇
時事通想	田尻稻次郎	一五〇
戰爭と國際法	立作太郎	二五〇
不動產競賣手續便覧	關谷喜三	一五〇
刑事政策綱	菊池重宗	八〇
浦潮御德事情	浩野學人	三〇
大ナポレオンの妻	永代靜雄	六〇
坐禪指南	原田祖岳	八〇

京城本町二丁目　巖松堂書店　電話一二六六番　振替京城二四五四番

天下の絶勝　金剛山へ

京元線平康驛より臨時自働車を通ず

平康末輝里（金剛山入口）間賃金如左　一人金十三圓五十錢　二人の場合一人に付金十圓五十錢　三人の場合同九圓三十錢　四人の場合同……　一人金三圓其中間金化迄一圓五十錢　平康發京正午十二時同發車午後二時　何れも上下汽車時間に接續す

諸事御照會は電話九六五番へ

藤富牧場

消毒牛乳　進物用牛乳切手有　新鮮鷄卵配達　電話一三一九番

新刊書御案內

書名	著者	定價
本月? 張		一二五〇
綴方新教授法の原理	駒村德壽	一三〇
改版最新日本地圖	富山房編	一六〇
轉地療法山と海	竹中繁次郎	七〇
園碁攻擊戰法	瀨越憲作	六〇
實地圖解盛花瓶華秘法	池田?	一〇〇
大英國の危機	宮家譲男	七五
近頃儲かる商賣百種	金々先生	六五
坐禪指南	原田祖岳	八〇
大ナポレオンの妻	永代靜雄	六〇
寫眞のうつし方	三宅克己	七五
瞬間催眠術	松方正造	八〇
各國參照工場法要義	田邊好一	六〇
朝鮮諸官廳法律問答	阪上朝吉	四〇
受驗必携朝鮮行政法規大意		四〇
同會話譯文速成	同	四〇
朝鮮の衣食住	村上唯吉	二五
日韓怪談海鹿地獄	江見水蔭	八〇
一人でも出來る西洋カルタ	第一編	三五
子規句集講義	俳書堂	九〇
新式圍碁寶典	鈴木五良	七〇
圍碁五元布石攻合法	中川龜三郎	三〇

京城本町　電話二八〇六　振替京城二五三七　大阪屋號書店

女鳩

渡邊默禪

(九四) 遁れぬ證據

眞先に坐り込んだお孝は、先づ狐の如な陰險な目をおろりと住江にくれてから、ごつくりと唾を呑込んで『秀さま、どうも驚いて了ひました。實に私し、まア何と申してよいか、呆れて物も言へません。さ、皆さんすつこお出なさいよ。お互ひさまに庇ひ立をしたの何のと思はれちや迷惑ですから、眞實のことをお話し申さうぢやありませんか。ね、慈じ遠

慮をするよりか有の儘がよござんすわ』。

薄氷のやうな樒が達者に動く。

『有つのかい』秀子は開いた。

『はい。論より證據。これを御覧に入れませう』。

小腋に抱へて來た手文庫を大事さうに前に出した。秀子は感情の張切つたやうな嚴かしい顏をして、忙しくそれを引寄せた。住江は横目にそつと見た。今秀子の手に帶革を解かれてゐるのが、自分の部屋の違棚の上に置いた姫路革の手文庫で、いろんな寫眞を入れてある物だつた。

『あら』。

秀子は蓋をとつた時に喫驚した樣子で、少頃箱の中を見詰めてゐたが頓て右の手を差込んで取出したのが紅い天鵞絨張の小さなサックと、最う一つが草色の較大きなサックだつた。それを披けると小さな方から純白ダイヤの入つた白金の指環。大い方からは同じダイヤと眞珠とで埃及式の花を見せた十八金の腕輪が出た。

住江はどう思つてか、じつと沈著いた體に波一つ打たせず、淋しい笑を眼のあたりに漂はせて、徐かに呼吸をしてゐた。秀子はきゆつと唇を閉して、銀鈴のやうな圓い目をまともにその顏に向けた。お孝とみんなは默つて二人の樣子を眺めた。

急に蕭然となつた五十秒間の睨み合は、頓て天地を動搖させる大暴風前の物凄い沈默であつた。

『住江』。

『はい』。

二人の目と目が打突つた角度に、電光のやうな閃きが渦卷いた。

『お前、是でも私しは存じませんと言へるかね』。

『は、申されます』。

『什麼して』。

『事實私しは知らないんで御坐いますもの。知らないことは知らないと申上げるより外に、仕方がないぢやございませんか』。

『まア、何といふ圖迂々しいことを……呆れて了うね、お前の鐵面皮には……單に疑ひが懸つたといふだけのことなら兎に角、第一竹といふ證人もあり、また現在お前の部屋の手文庫にこの通りちやんと品物を入れてあつたぢやありませんか。こんな遁れることのできない證據があるに、知らないと言張れる道理はないでせう。それとも此の證據について辯解されるだけの、何ぞ反證でもあるのかね』。

『いゝえ、どんな證據がございましても、證人が幾人出ませうと、そんなものに服從するやうな私しではございません。私しのやうな不束者にも正しい良心と申すものが御座います。その良心に照して見まして、少しも疚しいとがない以上は、例令何誰が何と被仰いませうと、自分の良心を枉げて犯した覺のない無實の罪を衣る譯には參りません。はい、この命を失くなしましても爭へるだけは爭ひます。證據や證人などゝ申すものは、拵へようと思へば、幾らでも拵へることが能きるんでございますもの。オホ、、、、そんな細工事が何の證據になりますものか』。

決然と言つて冷笑つた、極度の怒に渾身を顫はせた秀子は躍起となつて

『そ、それでは、この證據が拵へ事だといふのかね』。

『はい、私には爾う思はれます』。

先刻から益々してゐたお孝は、最う堪へ切れなくなつて、側面から突いと膝行出すをきつかけに

『お默んなさい、住江さん、白ばつくれでないよ。お澄ましでないよ。お大陽樣の前でよく氣耻かしくもなくそんなとが言へるね』。

と耳にひりつく金切聲を振立てた

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）
外科 花柳病 皮膚科 耳鼻科 咽喉科 内科
島崎病院 電話二七三六番
診察夜九時迄 院長勳四等從六位島崎龍一
手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

京城南大門通三丁目（鈴木商店横入る）
入院隨意
胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

新刊紹介

- 蘘草搗くに伊吹嵐や櫓名殘 同
- 犬は月を吠ゑ兒は砧に泣く 月同
- 砧やめば月天心夜沈々 同
- 酒に水混ぜる夜頃や小夜砧 風
- 榛の木を高伐る村や落し水 同
- 砧打つに梁の塵落つ束ね髪 同
- 相槌の思ひ苦と砧打ち亂る 同
- 薙黍の根にそゞ瓜や鳩笛す 同
- 鳩吹や谷廻り出つ一の瀧 同
- 秋蚊帳や祇王がのぞく閨怨歐 同
- 耳につく鐶鳴りや觸惜む夜さ 同

波骨

▲青年(英國研究號) 自治の精神及び政治的智識を修得し眞個善政市下の模範青年の養生に努力し來れる本誌は茲に三週年紀念號を發刊せり重要記事としては英國人の兩面觀(中野正剛)英國人の長所短所(鎌田榮吉)軍國の政黨政治(高石眞五郎)戰勝に現はれたる英國々民性(長村抱月)國際經濟の變局と英國の苦心(本田精一)等の英國研究に關するもの、外國民經濟上の急務(田尻稻次郎)無價値なる工場法(堀江歸一)等の時論あり其他小說に文苑に名士の興味ある記事を收む(二十五錢東京市麻布區市兵衛町二の二三青年社)

▲大日本新聞(三ノ一〇) 五錢東京市麴町區有樂町一ノ四其社

▲大阪小間物商工新報(四六八) 五錢大阪市東區北久寶寺町二ノ一四其社

▲消防新聞(二) 七錢五厘東京市芝區櫻川久保町五其社

▲婦人週報(二ノ三五) 敎師を高龍鳳する弊エレンケーの母性論、外人の見た日本の女中根本的美容術其他(四錢五厘東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七其社)

▲千代田(九の八) 鳴雪俳話、鬼貫句集接續講師等の外募集俳句には物等、京風雅、田坂草、松浦集、趣味等ありて賑はし(十五錢東京市淺草區高原町二一其社)

▲國民飛行(九月號) 飛行船と飛行機の比較航空機關通俗解說、夢に見た世界一周の研究、飛行界茶話等の外婦人界欄の哀史飛行機、少年界欄の科學小說秘密の飛行艇、批判欄航空界等の興味ある記事を以て滿せり(十八錢東京市麴町區四番町一〇其會)

▲京城宮横の梅溪の普通學校では二日の授業始の朝先づ第一番に門前の草取りを生徒にさせて居たが子供の教育は斯くありたいものだ(明治老人)▲此頃の殘暑を午前の十時頃狹い本町通に不潔な人糞運搬車が五臺も十臺も行請つて通行も出來ないばかりでなく惡臭滿街、都市の不體裁でもあり衞生上にも惡いに決つて居る黄金町や鐘路の樣な廣い通を行く樣にしては如何(潔癖小僧)▲平壤の活動寫眞常設館は木戶錢代が非常に高い上に御茶子から色々の者を買付けられるので一寸吾々の樣な腰辨では仲々に見物が出來ないが今少し安くしたら如何(活動狂)▲平壤酒類販賣組合では九月一日から五圓方の値上げをやつたが吾々猩々黨は大閉口だ(滿醉生)▲此頃湯錢問題で本欄を賑しつゝあるは一般人士の注目するところとなり高いとか廉いとか議論を吐く諸君は先づ朝鮮各地方の湯錢及び其設備を調べたる上京城の湯錢の當不當を論ぜられては如何根據なき議論は止めたまへ(中立生)▲先日某役所へ土地臺帳を閱覧に行つた處が袴又は羽織を着用して居なかつた爲め之れを拒絕せられ何某は特に願ひたるに廳外へ引張り出され泣く〳〵歸つたのを目擊した貧乏人は閱覧も出來ぬ譯だ至急取調を要する諸君は御注意あれ時間遅れて翌日になることがある(貧乏人)

太田湖南吟社小集(二)

- 時なれや月の用毎も落し水 西水
- 豊作の俗謡うれし落し水 同
- 轉寢の耳に淋しき砧かな 同
- 遠う近かに砧の音や風の綾 いかり
- 寡居三年砧に思ひやる夜哉 同
- 落し水畷に鮒の子捕へけり 松年
- 落し水泥醉の鯉よろつく 同
- 砧うつ藪の小家や牛うなる 同
- 鳩笛や枯蔦からむ大銀杏 同
- 鳩笛や白衣の僧の庭を掃く 同
- 夫逝きて漸くに秋の觸惜む 雅溪
- 落し水に纈纈かけた門田哉 同
- 舷にひゞく砧や島の家 同
- 鳩吹や淫祠の注連の柄るゝ 同
- 鳩吹や七景見下す比良の山 同

◎山東炭計畫（大阪出） 山東省當局は既に炭坑の發展[illegible]一あり昨年末迄の採炭量は十四萬八千噸にして獨逸時代の四十萬四千噸に比すれば三分の一にも過ぎず[illegible]坑の或る處は殆んど無煙炭に近く軍艦用燃料として英炭の代用たり得べく[illegible]一般汽罐用としては稍々劣れつゝき秋冷を控ゐ頗る需要に頗きあへる折柄山東炭の盛賈本邦當業者の眼にも稍々認められ來れるを機とし[illegible]んと某當業者は語れり（青島）

◎濟南と厘錢 [illegible]十名に達する有樣なるも相場の變動甚だしきと各厘錢業者とも資本の固定に苦しむと種々の事情より現物取[illegible]

[illegible]造工場の建築に着手したるが[illegible]地の鑄造業は十人以上を許可せざる[illegible]事前の方針にて已に定員に達する[illegible]

◎落花生脂肪酸 從來山東鐵道沿線より滿洲へ輸出す[illegible]來歐洲方面より輸入されたるにの計畫にて製造品を之れを海外へ輸出し同時に我內地へも輸出して從[illegible]

釜山著名商店

板硝子輸出入商 ◎鮮人向洋反物入荷仕候
釜山 Ⓜ 本町
村上元治郎

內外雜貨卸問屋 Ⓣ
近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八二〇番
人形ミルクとクリームキャラメル
サクラビールとダイヤ燒酎特約店
一番確實

▲高等雜貨 洋酒 食料品 信濃電氣製カーバイト
福榮商會 釜山辨天町一丁目 電話一一三番、三一九番

食料品雜貨
乾物 砂糖 麥粉 煙草 罐詰
金山大廳町三丁目 山西商店 電話七〇四番

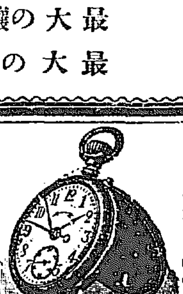
洋酒 罐詰 銘茶 糖粉 石油 煙草 荷札 卸問屋
釜山辨天町 Ⓚ ビワコ屋 長電七〇五 振替京城一六五〇番
(月刊物價表發行)

月刊商報發行送呈
釜山本町三 近藤商店 電七六八 振三五八
雜貨 鍋釜 鮮貨 金物 卸問屋
◎青竹 船入 釜山港 島末材木店

男のひみつ病
◎專賣特許第二七九二四號、同第二九二〇一號、同第二九二六九號の眞空水治療法器と包皮自然治療器は共に最新發明の輕便自療器にして之を自宅にて秘密に使用せば生殖器の短小、包皮、陰萎、早漏、遺精、麥精、神經衰弱等は頗る手輕に全治し再發の憂なしハカキ申込は圖入說明細書を無代進呈す
◎專賣特許に非ざる新案と稱する僞物あり御注意せよ
◎東京京橋本材木町三ノ廿五 東京新療法研究所
◎大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
振替貯金口座 京城三三三番
電話 (圖)三三一、(圖)三三二、一六一、一一〇六、一二六〇、一二六一
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

醤油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醤油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證
最上醤油 (キハク印)
下總國野田町 茂木七郎右衛門釀造
特約店 明治町一丁目 牧野商店 電話二五三番

新荷著 スヰッツル製 懐中時計

機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
十七形 ニッケル(兩蓋) 四圓
同 同 ラヂューム目盤 五圓五十錢
十八形 同 側 十二圓
十一形 銀 十八圓
十九形 同 (十年保險) 二十八圓
十六形 金メッキ彫刻(兩蓋) 四十六圓
十一形 鐵質側水色 五十八圓
十九形 金ペリ(同) 十八圓
十八形 同(同) 二十一圓五十錢
▼腕時計
ニッケル側 五圓
同 三圓十錢
十二形 同 十五圓
十三形 同(ラヂューム入) 二十二圓
同 銀側 十八圓
アメリカ製十四金ペン付萬年筆 一圓八十錢
同 二圓八十錢
同 三圓二十錢
同 五圓八十錢
同 七圓八十錢
同 九圓五十錢
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のものに伏して御便宜に御地方諸賢の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

東亞牧場 京城進明町四 (電話五二番)
模範牛乳 純粹培養ヨーグルト
場主獸醫 肥塚正太

金泉醴泉間自動車時間
上り 金泉發前八、三〇 九、三〇 ... 醴泉著後[illegible]
下り 醴泉發前[illegible] 金泉著後[illegible]

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕り候

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 前[illegible] 大邱著 [illegible]
下り 大邱發 前[illegible] 浦項著 [illegible]
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一二一番

汽船釜山出帆廣告
- ○門司、神戶、大阪行 日後五時出帆
- ○元山、清津、浦鹽行 日後十時出帆
- ○元山、城津、浦鹽行 日後十時出帆
- ○元山、新浦、城津、清津行 日後六時出帆
- ○小倉丸 第三共平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 日後六時出帆
- ○第三共平丸 住須奈、嚴原、鄉ノ浦、博多行 月日後十時出帆
- ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埠頭新通 取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
- ○芝罘、大連行 九月三日後三時出帆
- 朝鮮總督府命令航路 第一 [illegible] 九月 日前八時出帆
- 第二 [illegible] 九月 日後九時出帆
- 西湖洋洲各港を經て鎭南浦行 [illegible]
仁川本町 共同汽船株式會社

大阪商船仁川出帆
- ○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 九月八日後九時出帆
- ×安東縣行 九月 日
- ×大連行 九月十四日正午出帆
- ○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 九月十日後二時出帆
- ×木浦、釜山、鄉の浦、長崎行 九月十一日後二時出帆
- ○信濃川丸 九月十二日後二時出帆
- ○大智丸 九月二十日後二時出帆
- ○鎭南浦、大連行 九月廿七日後二時出帆
- ○大連直行 九月六日正午出帆
- ○上海、芝罘、打狗行（大連出帆） 九月十三日後四時出帆
- 仁川支店

朝鮮郵船仁川出帆
- ○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○成鏡丸 門司より釜山各港を經て 九月九日 九月十九日 九月十三日 釜山發
- ○鏡城丸 ○昌平丸 ○鐵嶺丸 元山より各港を經由 九月八日 九月四日 元山發
- ○忠淸丸 ○平壤丸 九月十五日 九月八日 元山發
- ○永興丸 毎月廿八回 元山發
- ○盛德丸 九月 日 釜山發
- ○江陵丸 ○瀛陽丸 每日 釜山發
- ○三浦丸 九月六日 釜山發
- 京城南大門驛前 松原運送店 (電話長一七〇番)

尼崎汽船仁川出帆
- ○君が代丸 九月七日後四時出帆
- ○大有丸 九月十六日後四時出帆
- ○神代丸 九月十四日後四時出帆
- ○秀吉丸 九月十一日後四時出帆
- 仁川海岸通 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
- ○相模丸 九月七日正午出帆
- 高砂丸 九月十七日正午出帆
- 三河丸 九月廿八日正午出帆
- 仁川海岸町 堀回漕部